

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十一月二十五日

內務大臣男爵內海忠勝

○內務省告示第八十六號

一明治三十五年九星早見

全一冊

京都市寺町通三條上ルニ番戶區田吉次發行

一明治三十五年九星便

全一冊

大阪市平野町二丁目四十八番屋敷大盛泰治郎發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十一月二十六日

內務大臣男爵內海忠勝

○內務省告示第八十七號

一行政時報

右出版物ハ其ノ第三號ノ記載事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ出版スルコトヲ差止ム

東京市神田區淡路町一丁目一番地眞田爲治發行

明治三十四年十一月二十八日

內務大臣男爵內海忠勝

○內務省告示第八十八號

一明治三十五年九星日之早見

一枚

東京市淺草區聖天町七十二番地山本清兵衛發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十一月二十八日

內務大臣男爵內海忠勝

○內務省告示第八十九號

一明治三十五年九星早見

全一冊

大阪市平野町二丁目四十八番屋敷大盛泰治郎發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十一月二十九日

內務大臣男爵內海忠勝

○大藏省告示第四十九號

札幌稅務管理局管内上川稅務署ヲ本月四日ヨリ開廳ス

明治三十四年十一月一日

大藏大臣曾禰荒助

○大藏省告示第五十號

一無記名整理公債證書額面百圓券附屬利札

二枚

二十三年發行

小號 第四二二番

但明治三十三年六月渡ノ分

右山口縣豐浦郡長府村第七百三十七番屋敷住吉谷市五郎所有ノ處明治三十三年六月二十二日燒失

二十六年發行

大號 第八〇四〇番

但明治三十三年六月渡ノ分

右佐賀縣佐賀市水ヶ江町百八十九番地石井倭一郎所有ノ處明治三十三年七月一日燒失

右消滅セシ趣ヲ以テ代利札ヲ請求セシモ仕拂期已ニ經過シタルニ付整理公債條例第二十條ニ據リ

利子ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス

明治三十四年十一月九日

大藏大臣曾禰荒助

○大藏省告示第五十一號

第三回二十八年發行

一無記名軍事公債證書額面五拾圓券附屬利札

一枚

被號 三九五〇三番

明治三十四年十一月 告示 大藏省第四十九號 第五十號 第五十一號

但明治三十三年六月渡ノ分

右大阪府泉南郡沼野村大字沼百四十一番屋敷小林安太郎所有ノ處明治三十三年六月三十日燒失セシ趣ヲ以テ右利札ニ對スル利金請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス

大藏大臣曾禰荒助

明治三十四年十一月九日

○大藏省告示第五十二號

本年十一月二十日名古屋本金庫所屬四日市支金庫ヲ四日市市大字中町へ移ス

大藏大臣曾禰荒助

明治三十四年十一月十四日

○大藏省告示第五十三號

第二回發行

一無記名軍事公債證書額面五拾圓券 一枚

泐號 七〇七壹六番

但明治三十三年十二月渡已降利札附屬

右廣島縣雙三郡若田村字茂田九番邸廣瀬龜次郎所有ノ處明治三十三年十月二十五日燒失

二十八年第三回發行

一無記名軍事公債證書額面五拾圓券 一枚

泐號 壹八四壹六番

但明治三十三年六月渡已降利札附屬

右福岡縣早良郡脇山村大字脇山二千二百八十番地緒方豐吉所有ノ處明治三十三年五月四日燒失

一無記名軍事公債證書額面百圓券 二枚

第二回發行

泐號 壹〇壹〇七〇番

三十年第三回發行

泐號 貳九五參九番

但明治三十三年六月渡已降利札附屬

右奈良縣宇智郡五條町大字五條第三百四十六番地和田繁太郎所有ノ處明治三十三年二月十七日燒失

以上消滅セシ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十四年十一月十四日

大藏大臣曾禰荒助

○大藏省告示第五十四號

一無記名整理公債證書

五枚

內

二十二年發行

一枚

百圓券

一枚

泐號

第三〇五二三番

二十四年發行

一枚

五拾圓券

一枚

泐號

第一七〇八番

但明治三十三年六月渡已降利札附屬

右福井縣福井市川上町百四番地堀井シゲ所有ノ處明治三十三年四月十九日燒失
二十三年發行
百圓券

小號 第ハハハハ三番

二枚

但明治三十三年十二月渡已降利札附屬

右兵庫縣姫路市下寺町裏五十一番屋敷西松茂彦所有ノ處明治三十三年六月十五日燒失

以上消滅セシ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル
證書ハ無効トス

明治三十四年十一月二十二日

大藏大臣曾禰荒助

○大藏省告示第五十五號

明治三十年大藏省告示第七十三號金庫位置及出納區域表中本年十二月一日ヨリ臺北本金庫及其所
屬支金庫ノ欄ヲ左ノ通改正ス

明治三十四年十一月二十二日

大藏大臣曾禰荒助

本金庫名	位	置	區	域	支金庫名	位	置	區	域
臺北	臺北廳臺北		臺灣總督府		臺南	臺南廳臺南		臺南廳	
新竹	新竹廳新竹				臺中	臺中廳臺中			
基隆	基隆廳基隆				嘉義	嘉義廳嘉義			
桃園	桃園廳桃園				彰化	彰化廳彰化			
苗栗	苗栗廳苗栗				南投	南投廳南投			
臺東	臺東廳臺東				花蓮	花蓮廳花蓮			
屏東	屏東廳屏東				高雄	高雄廳高雄			
基隆	基隆廳基隆				臺北	臺北廳臺北			
新竹	新竹廳新竹				臺南	臺南廳臺南			
臺中	臺中廳臺中				嘉義	嘉義廳嘉義			
彰化	彰化廳彰化				南投	南投廳南投			
苗栗	苗栗廳苗栗				桃園	桃園廳桃園			
臺東	臺東廳臺東				屏東	屏東廳屏東			
屏東	屏東廳屏東				高雄	高雄廳高雄			

打狗	鳳山廳打狗	鳳山廳	阿猴廳	恆春廳
宜蘭	宜蘭廳宜蘭	宜蘭廳		
澎湖	澎湖廳澎湖	澎湖廳		
澎湖	澎湖廳澎湖	澎湖廳		

○陸軍省告示第十二號

明治三十四年徵集ノ第一補充兵役輜重輸卒ニシテ第六第八第九第十第十一第十二師管ニ在籍
スル者ノ中必要ノ人員ヲ限リ本年十二月一日ヨリ來ル明治三十五年三月三十一日迄ノ間ニ於テ三
十日間教育召集ヲ施行ス

明治三十四年十一月八日

陸軍大臣男爵兒玉源太郎

○海軍省告示第十七號

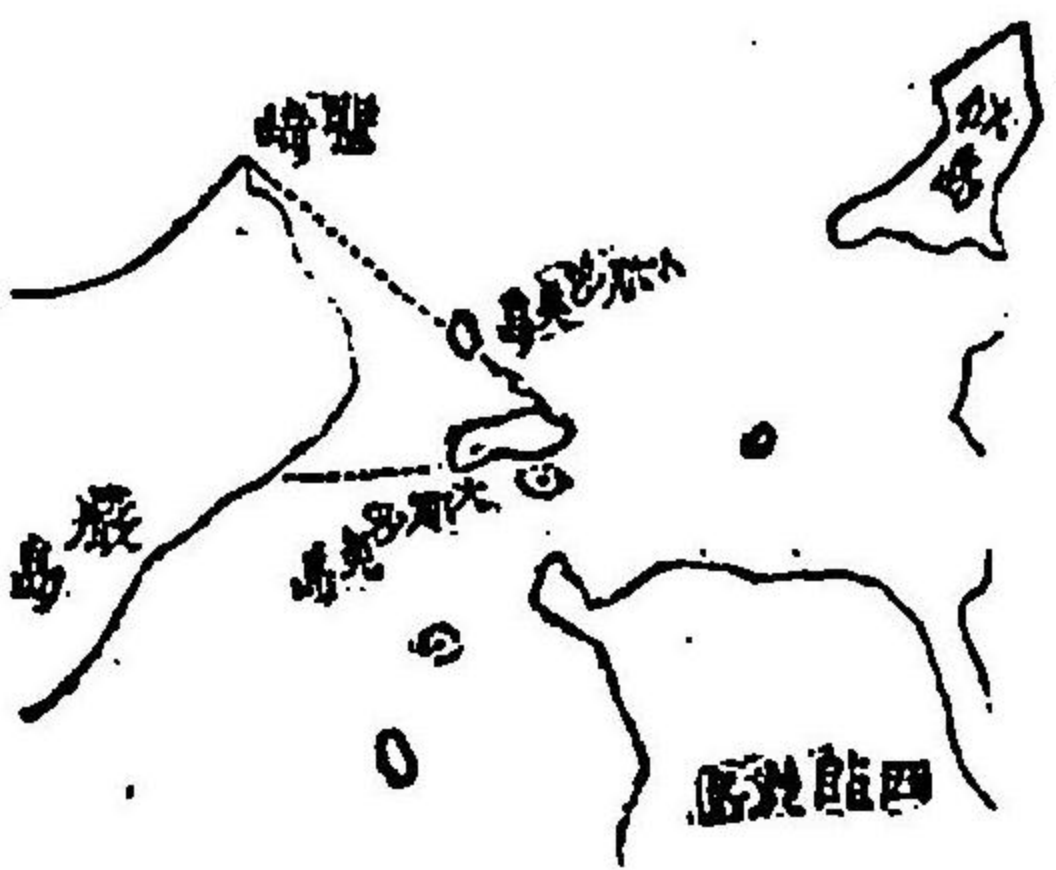
今般實驗ノ爲廣島灣内大那沙美島及嚴島間水道内嚴島ノ北端聖崎ト大那沙美島ノ北東端トヲ連結
シタル直線及大那沙美島ノ南西端ト同端ヨリ西ノ北ニ當ル嚴島東岸ノ一角トヲ連結シタル直線ト
ニテ圍ミタル海面(左圖點線區域内)區域中ニ危險物ヲ沈置スヘキニ付來ル十一月二十一日ヨリ十
二月二日マテ十二日間右區域内ハ船舶ノ通航及漁業ヲ禁ス(海軍海圖第五〇號參看)

明治三十四年十一月四日

海軍大臣山本權兵衛

前記通航禁止中ハ特ニ西能美島及大那沙美島間水道(通稱那沙美瀬戸)内大那沙美島ノ南東端ヨリ
南西ノ南距離約二鐘ニ在ル干出岩(通稱中ノ瀬)附近及安渡島附近ニ小舟ヲ繫留シ夜間ハ烽火ヲ

點スヘキヲ以テ其ノ近傍ヲ通航スル汽船ハ微速力ヲ用フヘシ又中ノ瀬附近ニ繫留セル小舟ニハ晝
間赤旗ヲ掲揚ス
方位ハ磁針ニ取ル其ノ差四度二十五分西



海軍海圖第五〇號ト同尺度

○海軍省告示第十八號

今般實驗ノ爲左記ノ二區域ニ危險物ヲ沈置スヘキニ付來ル十一月二十五日ヨリ十二月四日マテ十
日間同區域内ハ船舶ノ通航碇泊及漁業ヲ禁止ス(海軍海圖第九〇號參看)

明治三十四年十一月十五日

海軍大臣山本權兵衛

東京海灣

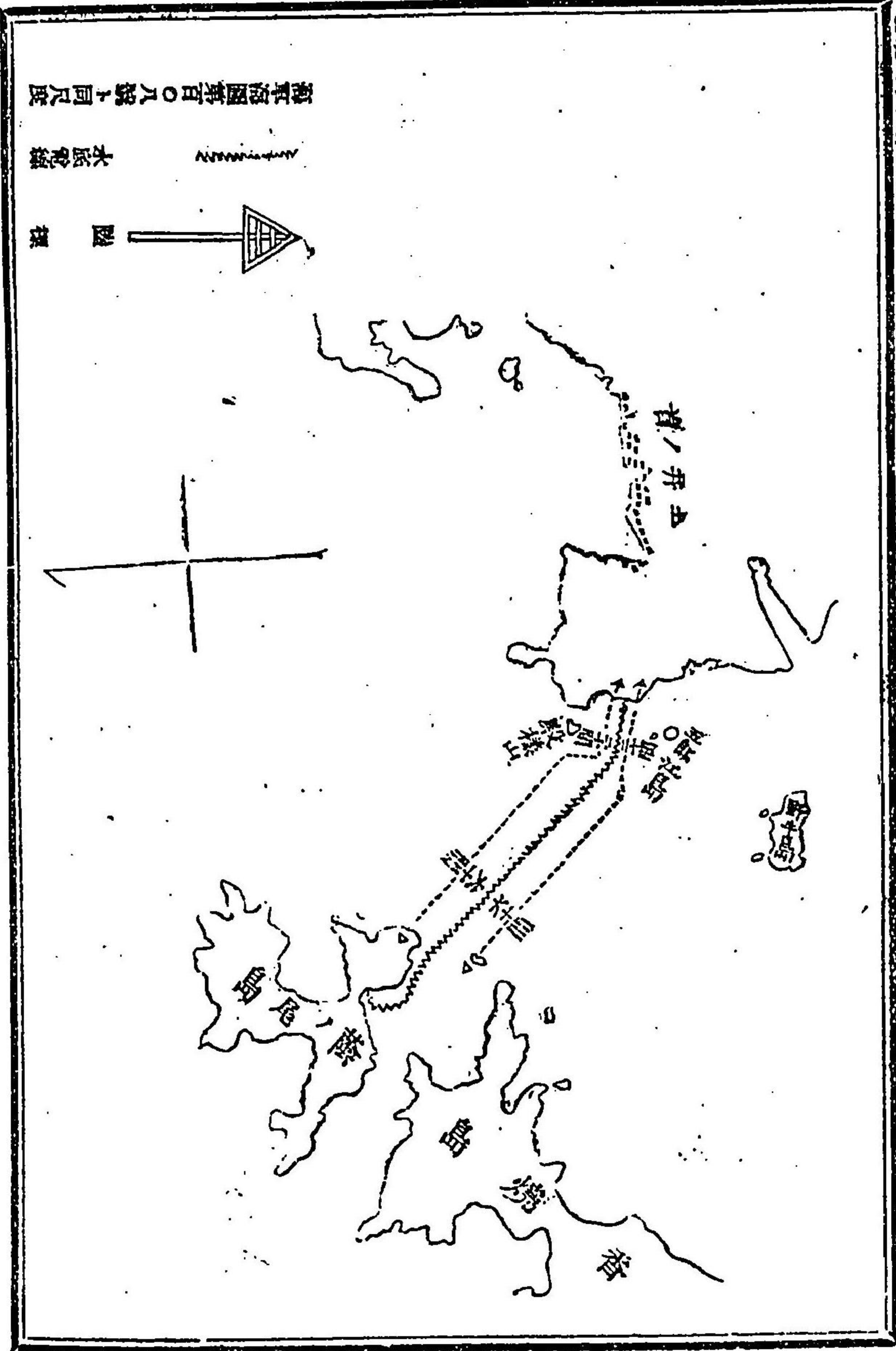
- 一 長浦港外ニ於ケル左記四箇浮標ヲ順次連結シタル直線ニテ圍ミタル海面
 - 一 夏島ノ東端ヨリ南微東約八百碼ニ碇置シタル赤色浮標及約一千百碼ニ碇置シタル白色浮標
 - 二 右白色浮標ノ西約三百碼ニ碇置シタル他ノ白色浮標及赤色浮標ノ西約三百碼ニ碇置シタル他ノ赤色浮標
 - 二 横須賀港外ニ於テ勝力埼ノ東端ヲ南微東ニ、放波島ノ北西端ヲ南西微南ニ見ル位置ニ碇置シタル赤色浮標ト同浮標ヨリ勝力埼及放波島ノ方ヘ各約六百五十碼ヲ距テ、碇置シタル白色浮標トヲ順次連結シタル直線ニテ圍ミタル海面
- 方位ハ磁針ニ取ル其ノ差四度二十五分西

○海軍省告示第十九號

肥前國西彼杵郡香焼村ノ内蔭ノ尾島及同國同郡土井ノ首村間ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ土井ノ
首村陸揚地ヨリ沖百間迄ハ線條ノ左右各二十間以内夫ヨリ蔭ノ尾島陸揚地迄ハ線條ノ左右各六十
間以内ヲ以テ該線路ト定ム

明治三十四年十一月三十日

海軍大臣山本權兵衛



○司法省告示第五十八號
和歌山地方裁判所管内妙寺區裁判所橋本出張所ニ備ヘアリシ不動産登記ニ關スル左記ノ書類紛失シタリ

明治三十四年十一月五日

司法大臣清浦奎吾

受附ノ年月日	受附番號	登記原因及目的	申請人ノ氏名	書類ノ種類及枚數
明治三十四年五月九日	第一、六三七號	土地抵當權設定ノ登記 買賣ニ因ル土地所有權 移轉ノ登記	長谷川 直之助 朝倉 孫三郎 丸山 長藏 小林 豐三郎 朝倉 久兵衛 朝倉 梅吉 西田 善右衛門 九鬼 幸之助 田中 幸之助 織田 スエ 堀坂 さよ 堀坂 雅樂之助 中井 勘次郎 坂口 源三郎	申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通 申請書一通
同年五月十五日	第一、六六三號	同上	同上	同上
同年五月二十八日	第一、七六四號	同上	同上	同上
同年七月六日	第一、九三九號	建物所有權保存ノ登記 買賣ニ因ル土地所有權 移轉ノ登記	同上	同上
同年七月十三日	第一、九九二號	同上	同上	同上
同年七月十五日	第二、〇〇三號	同上	同上	同上
同年七月十九日	第二、〇一九號	買賣ニ因ル建物所有權 移轉ノ登記	同上	同上

○司法省告示第五十九號

横濱地方裁判所管内小田原區裁判所大磯出張所ニ於テ本年九月二十一日受附登記權利者内務省代理神奈川縣知事提出土地所有權移轉(中郡吾妻村ヨリ)ノ登記囑託書ニ添附シタル不動産ノ目録及ヒ登記義務者ノ承諾書紛失シタリ

明治三十四年十一月六日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十號

新潟縣西蒲原郡地藏堂町 戶籍役場本年十月六日 火災ニ罹リ 戶籍簿、身分登記簿後見人名簿其他役場ニ保存シタル書類焼失シタルニ付 左ノ各號ニ該當スル者ハ 明治三十五年二月十五日マテニ更ニ同町戶籍吏ニ届出若クハ申請ヲ爲シ 身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シ又ハ報告、請求、送付等ヲ爲スヘシ

但届出若クハ申請ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出スニ付キ 詳細ノ手續ハ同町戶籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 本年九月一日ヨリ十月五日マテノ間ニ於テ同町戶籍吏ニ戶籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者

第二 本年九月一日ヨリ十月五日マテノ間ニ於テ同町戶籍吏ニ戶籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シタル者

第三 本年九月一日ヨリ十月五日マテノ間ニ於テ同町戶籍吏ニ身分ニ關スル届出若クハ申請ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シタル者

第四 本年九月一日ヨリ十月五日迄ノ間ニ於テ同町戶籍吏ニ身分ニ關スル届書、申請書ノ正本若クハ副本ヲ送付シ、身分ニ關スル報告ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本、身分ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ送付シタル者

第五 本年九月一日ヨリ十月五日マテノ間ニ於テ同町戶籍吏ニ身分登記取消ノ請求ヲ爲シタル者

第六 戶籍法施行前同町場役ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者

前各號中第二號ノ戶籍ニ關スル届書ノ副本及ヒ第四號ノ身分ニ關スル届書、申請書ノ正本又ハ副本ハ戶籍吏監督區裁判所又ハ戶籍役場ニ保存スルモノニ就キ之ヲ謄寫シテ送付スヘシ 第六號ノ届書ハ戶籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ

者

司法大臣清浦奎吾

明治三十四年十一月十五日

○司法省告示第六十一號

新潟縣西蒲原郡地藏堂町役場本年十月六日 火災ニ罹リ 出入寄留簿焼失シタルニ付 現ニ同町ニ寄留スル者又ハ同町ヨリ他へ出寄留中ノ者ハ 明治三十五年二月十五日マテニ 明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ 其出入寄留ヲ更ニ同町長ニ届出ツヘシ

明治三十四年十一月十五日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十二號

奈良地方裁判所五條支部ニ於テ 明治三十四年十一月二十日ヨリ 當分豫審事務ヲ取扱ハス

明治三十四年十一月十六日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十三號

指定倉庫營業者直江津倉庫株式會社ハ 本年十月二十六日臨時株主總會ノ決議ニ因リ 解散シタル旨

新瀨地方裁判所長ヨリ報告アリタリ

明治三十四年十一月十九日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十四號

廣島地方裁判所管内庄原區裁判所ノ 裁判事務ハ 裁判所構成法第十三條第二項ニ依リ 明治三十四年十一月二十日ヨリ 三次區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十四年十一月十九日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十五號

山口地方裁判所管内船水區裁判所ノ 裁判事務ハ 裁判所構成法第十三條第二項ニ依リ 明治三十四年十一月二十日ヨリ 赤間關區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十四年十一月十九日 司法大臣清浦奎吾

明治三十四年十一月十九日

司法大臣清浦奎吾

明治三十四年十一月十五日

○司法省告示第六十一號

新潟縣西蒲原郡地藏堂町役場本年十月六日 火災ニ罹リ 出入寄留簿焼失シタルニ付 現ニ同町ニ寄留スル者又ハ同町ヨリ他へ出寄留中ノ者ハ 明治三十五年二月十五日マテニ 明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ 其出入寄留ヲ更ニ同町長ニ届出ツヘシ

明治三十四年十一月十五日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十二號

奈良地方裁判所五條支部ニ於テ 明治三十四年十一月二十日ヨリ 當分豫審事務ヲ取扱ハス

明治三十四年十一月十六日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十三號

指定倉庫營業者直江津倉庫株式會社ハ 本年十月二十六日臨時株主總會ノ決議ニ因リ 解散シタル旨

新瀨地方裁判所長ヨリ報告アリタリ

明治三十四年十一月十九日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十四號

廣島地方裁判所管内庄原區裁判所ノ 裁判事務ハ 裁判所構成法第十三條第二項ニ依リ 明治三十四年十一月二十日ヨリ 三次區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十四年十一月十九日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十五號

山口地方裁判所管内船水區裁判所ノ 裁判事務ハ 裁判所構成法第十三條第二項ニ依リ 明治三十四年十一月二十日ヨリ 赤間關區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十四年十一月十九日 司法大臣清浦奎吾

○文部省告示第九十二號

埼玉縣大里郡熊谷町ニ農業學校規程甲種程度ニ依リ埼玉縣立甲種熊谷農業學校設置ノ件認可セリ

明治三十四年十一月一日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第九十三號

北海道函館區ニ商船學校規程甲種程度ニ基キ北海道應立函館商船學校ヲ設置シ明治三十四年十一月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十四年十一月四日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第九十四號

愛媛縣新居郡中萩村ニ農業學校規程乙種ノ程度ニ依リ新居郡立農學校設置ノ件認可セリ

明治三十四年十一月八日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第九十五號

明治三十四年一月文部省告示第二號但書中普通本科生ノ下及ヲ削リ普通選科生ノ次ニ及別科生ヲ追加ス

明治三十四年十一月八日

文部大臣理學博士菊池大麓

〔參照〕

明治三十四年一月文部省告示第二號ハ東京府私立國學院ヲ徵兵令ニ依リ認定シ其認定ノ效力普通本科生及普通選科生ニ及ハサル件ナリ

○文部省告示第九十六號

德島縣知事ハ同縣美馬郡脇町大字脇町字東城山即東經百三十四度十三分北緯三十四度六分ニ警報信號標ヲ設置シ明治三十四年十一月一日ヨリ實施ノ旨報告セリ

明治三十四年十一月十二日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第九十七號

德島縣知事ハ同縣海部郡淺川村大字淺川浦村字入口即東經百三十四度二十四分北緯三十三度三十八分ニ警報信號標ヲ設置シ明治三十四年十一月一日ヨリ實施ノ旨報告セリ

明治三十四年十一月十三日

文部大臣理學博士菊池大麓



○文部省告示第九十八號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十四年十一月十六日

香川縣高松市立高松商業學校

○文部省告示第九十九號

富山縣西礪波郡石動町ニ石動町立徒弟學校設置ノ件認可セリ

明治三十四年十一月十六日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第一百號

明治三十三年十二月二日文部省告示第三十六號ノ京都府私立真宗大學ハ東京府下ニ移轉セリ

明治三十四年十一月二十日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百一號
熊本縣球磨郡上村ニ熊本縣立熊本農業學校球磨分校ヲ設置シ明治三十六年四月ヨリ開校ノ件認可
セリ
文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十一月二十日

○文部省告示第二百二號

山梨縣南都留郡立南都留染織學校ヲ同郡及北都留郡組合立ニ變更シ郡組合立都留染織學校ト改稱
ノ件認可セリ
文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十一月二十六日

○文部省告示第二百三號

群馬縣女子師範學校ヲ群馬縣前橋市清王寺村ニ設置シ明治三十五年四月一日ヨリ開校ノ件認可
セリ
文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十一月三十日

○農商務省告示第四百十三號

明治三十五年一月十三日ヨリ露國セント、ピーターズブルグニ於テ開設スル萬國漁業博覽會ニ贊
同ス該會ニ關スル規則及出品部門ハ左ノ如シ
但開會期日切迫ニ付其出品ハ農商務省水産局ニ於テ之ヲ指定ス

明治三十四年十一月一日

千九百二年セント、ピーターズブルグ開設萬國漁業博覽會規則

第一條 博覽會事務局ハ局長、次長、審査長及ヒ水産會會員ヲ以テ組織ス各部ノ事務員、書記會計ハ
事務局委員ヨリ選任セラル事務局ハ僚友トシテ外國ヨリ名譽委員ヲ招請スルノ權ヲ有ス

第二條 場處使用ノ請求ハ千九百一年十一月一日マテニセント、ピーターズブルグ萬國漁業博覽
會事務局宛ニテ發送スヘシ番地ハ左ノ如シ
13. Bolshaya Konushennaya.
St. Petersburg, Russia.

第三條 出品物ハ部類ニ適合スルモノニ限ル但シ事務局ニ於テ不適當或ハ有害ト認メラル、出品
物ハ出陳ヲ拒ミ或ハ會場ヨリ撤回セシメラル、コトアルヘシ

第四條 陳列函、陳列臺等及ヒ粧飾ノ費用ハ凡テ出品人ノ自辨トス但シ此等ニ關スル設計ハ事務
局ノ許可ヲ受クルヲ要ス

第五條 出品物ノ搬入、交附、裝置、搬出等都テ出品人ノ自辨トス

第六條 器具、器械ヲ運轉シテ示サント欲スル者ハ豫メ之ニ要スル動力ヲ請求スヘシ

第七條 動力、水族館ノ水、電燈其他ニ要スル費用ハ之ヲ使用スル關係出品人ニ賦課ス

第八條 出品物ハ運賃割引ニテ露西亞鐵道ニテ運搬ス博覽會ハ外國出品物ノ爲メ保險倉庫ヲ貸與
ス

税金ハ開會二箇月後處分セラレサルモノ又ハ露西亞內地ニテ賣却セラレタル物品ニ對シ之ヲ課
ス税關検査ハ會場ニ於テス

第九條 出品物ノ送達ハ都テ要件ヲ記シタル入記目錄ニ通フ添フヘシ

第十條 陳列場(地面壁面共)使用料一平方、ア一シニ二ルーブルノ割合トス

學術上ノ協會等ニハ事務局ニ於テ特權ヲ許ス

注意

- 一 陳列場使用料ハ返附セス
 - 二 使用料金ヲ納附セサル者ニハ權利ヲ認メス
- 第十一條 出品人並ニ從者ハ事務局ニテ特別入場券ヲ許可シ職工其他ハ讓與出來サル自由切符ヲ許可ス
- 第十二條 事務局ハ出品物ノ損失、損害ニ對シ充分注意スレトモ其責任ヲ負フ者ニアラス
- 第十三條 出品物ハ事務局ノ指揮ノ下ニ陳列サル、モノトス
- 第十四條 出品者從者、僕職工其他ハ事務局ヨリ出ス諸規則ニ服從スヘキモノトス
- 第十五條 事務局ヨリ命令サレタル期限内ニ出品物ノ陳列ヲ怠リタル時ハ事務局ニ於テ之ヲナス其費用ハ出品人ニ於テ速ニ辨償スルモノトス
- 第十六條 特別ノ許可ナクシテ閉會前出品物ヲ會場外ニ搬出スルヲ得ス
- 第十七條 事務局ハ出品物ノ販賣ヲ許可スルコトヲ得但シ買賣約定濟ノモノハ同一ノ代品ヲ出陳スルニアラサレハ閉會前ニ搬出ヲ許サス
- 事務局ハ販賣許可ヲ中止シ或ハ之ヲ停止スルノ權ヲ有ス
- 第十八條 博覽會目錄及ヒ案内書ノ出版獨占權ハ委員會ニアルモノトス
- 第十九條 出品物ノ寫生、寫真ヲ取ルコトハ事務局ノ許可ヲ受クヘシ
- 第二十條 未タ出願セサル專賣特許權ハ開會中其權利ヲ侵サレス
- 第二十一條 出品物陳列函等ヲ荷造セル函ニハ其外側内側ニ出品者ノ住所姓名並ニ船載ノ場所ヲ

明記スヘシ

- 都テ函ハ事務局ヨリ出シタル札ヲ貼附スヘキモノトス
- 第二十二條 空函倉敷ハ實費ニテ計算セラルヘシ
- 第二十三條 露西亞人外國人及ヒ代理店ノ出品者ハ閉會後五日間内ニ會場ヨリ陳列箱出品物等ヲ搬出スヘシ期限後場内ニアル物品ハ露西亞帝國水產會ニ屬スルモノト見做ス
- 第二十四條 以上諸規則外ニ起ル事件ハ事務局ニテ便宜處分スルモノトス

千九百二十二年セント、ピーターズブルグ開設萬國漁業博覽會出品部門

- 第一部 水産生物
- 第二部 養魚
- 第三部 漁具
- 第四部 水産製造品
- 第五部 漁業用製造物
- 第六部 釣流
- 第七部 水族室
- 第八部 水産調査及其書類
- 第九部 漁業經濟

○農商務省告示第四百四十四號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十四年十一月四日

農商務大臣平田東助

國	郡	村	大字	字	地番	地目	面積	面積	所有者	申請者
但馬	美方	射添	入江村	ホウキ	一六五	山林	五、〇三三	五、〇三三	同	射添村長
同	同	同	同	同	一六四	同	七、二二二	七、二二二	同	中山
同	同	同	同	同	一六三	同	五、八三三	五、八三三	同	繁茂

○農商務省告示第四百四十五號

明治三十四年十一月 告示 農商務省第四百四十四號 第四百四十五號

報取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月八日

逓信大臣子爵芳川顯正

一電報取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第四百四十六號

本月十一日ヨリ美濃國安八郡神戸郵便局ヲ三等郵便電信局トシ神戸郵便電信局ト改稱ス其ノ電報取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一電報取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第四百四十七號

本月十一日ヨリ羽後國山本郡八森及陸奥國北津輕郡板柳ノ兩郵便局ヲ三等郵便電信局トス其名稱電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱 八森郵便電信局

板柳郵便電信局

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第四百四十八號

本月十一日ヨリ美濃國揖斐郡池田村ニ電信受取所ヲ設置ス其ノ名稱、位置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱 池野電信受取所

位置 美濃國揖斐郡池田村大字池野(池野郵便局内)

一通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第四百四十九號

小倉九字品支局郵便取扱所ハ本月九日限り之ヲ廢止ス

但同取扱所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ廣島郵便電信局宇品支局ニ於テ繼續取扱ハシム

明治三十四年十一月十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百五十號

佐倉九字品支局郵便取扱所ハ本月十日限り之ヲ廢止ス

但同取扱所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ廣島郵便電信局宇品支局ニ於テ繼續取扱ハシム

明治三十四年十一月十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百五十一號
天津郵便局新城出張所ハ本月七日限り廢止ニ付該出張所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ天津郵便局ニ於テ繼續取扱ハシム

明治三十四年十一月十二日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百五十二號

相模丸字品支局郵便取扱所ハ本月十二日限り之ヲ廢止ス

但同取扱所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ廣島郵便電信局字品支局ニ於テ繼續取扱ハシム

明治三十四年十一月十三日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百五十三號

明治三十五年一月一日以降當分ノ内郵便電信受取所 郵便受取所ニ於テハ外國小包郵便事務ヲ取扱ハス

明治三十四年十一月十三日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百五十四號

本月十六日ヨリ三河國北設樂郡稻橋郵便局ヲ三等郵便電信局トシ稻橋郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ニ關スル通信取扱時間及電報取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十三日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百五十五號

本月二十一日ヨリ信濃國南安曇郡梓郵便局ヲ三等郵便電信局トシ梓郵便電信局ト改稱ス其ノ電報取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十三日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百五十六號

本月十六日ヨリ笠置鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス其ノ取扱所ノ名稱、位置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十三日

遞信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱 笠置電報取扱所

位置 山城國相樂郡笠置鐵道停車場

一通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一電報直配達區域 相樂郡笠置村大字笠置

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ別使配達ヲ爲サス

○遞信省告示第四百五十七號

本月十二日限り陸前國高清水電信取扱所ヲ廢止ス

明治三十四年十一月十三日

遞信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱 笠置電報取扱所

位置 山城國相樂郡笠置鐵道停車場

一通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一電報直配達區域 相樂郡笠置村大字笠置

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ別使配達ヲ爲サス

○遞信省告示第四百五十七號

本月十二日限り陸前國高清水電信取扱所ヲ廢止ス

明治三十四年十一月 告示 遞信省第四百五十五號 第四百五十六號 第四百五十七號 一三六五

明治三十四年十一月十四日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百五十八號

本月十六日ヨリ長岡鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス共ノ取扱所ノ名稱、位置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十四日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱 長岡電信取扱所

位置 近江國坂田郡長岡鐵道停車場

一通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一電報直配達區域 九町以內

一取扱フヘキ電報 內國和文電報

○逓信省告示第四百五十九號

明治三十年六月逓信省告示第六十六號萬國電信條約附屬細目規則目第二十八條第四節中「西班牙ノ項」ニ「ベセタ」「サンチモ」「トアル」「ベセタ」「四〇」「サンチモ」ト改ム

明治三十四年十一月十五日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百六十號

自今在清國上海、天津、廈門、芝罘、漢口、蘇州、杭州及沙市各本邦郵便局ニ於テ白耳義爲替ノ拂渡ヲ取扱フ

明治三十四年十一月十六日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百六十一號

帆船明神丸外六十八艘へ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治三十四年十一月十六日

逓信大臣子爵芳川顯正

信號符字	番 號	種類	船 名	船 籍 港	所有者氏名
J P T L	四五八一	帆	明 神 丸	淡路國浦村	昆陽初太郎
J G K H	五一一五	汽	琴 部 丸	渡島國函館區	工藤 嘉七
J H S P	五四四八	帆	宮 臨 丸	筑後國三川村	古賀 和 市
J H S Q	五四四九	帆	第 二 三 友 丸	筑後國大牟田町	宮崎 嘉太郎
J H S R	五四五〇	帆	宮 磯 丸	筑後國大牟田町	松波 彌三郎
J H S T	五四五一	帆	萬 城 丸	肥後國龜池村	松本 長吉
J H S V	五四五二	帆	金 環 丸	筑後國三川村	山本 峰吉
J H S W	五四五三	帆	寶 壽 丸	筑後國大牟田町	中 宇 兵衛
J K D V	五五四二	汽	第 貳 大 川 丸	陸前國石巻町	横 山 佐 輔
J N L M	六二六三	帆	日 出 丸	伊豫國高山村	二宮 善七
J P T H	六四六九	帆	日 吉 丸	阿波國橋浦村	鍋淺竹五郎
J P T K	六四七〇	汽	關 折 丸	神戶市	神戶海港檢疫所
J L W T	六六五七	帆	第 二 號 植 徳 丸	遠江國磐城町	栗田貞太郎
J L W V	六六五八	帆	こ の は な 丸	駿河國靜浦村	渡邊七郎

J M B C	六六五九	帆	明治丸	駿河國靜浦村	佐藤祐次郎
J M B D	六六六〇	帆	鷗吉丸	伊豆國瀬代村	長澤熊吉
J P S H	六七七〇	帆	窓窓丸	安藝國田野浦村	津上松太郎
J K W G	六八六〇	帆	北辰丸	豐前國長洲町	長岡辰藏
J M G T	六八六四	帆	光運丸	周防國井關村	藤重格之助
J M G V	六八六六	汽	第三洞海丸	筑前國若松町	若松榮港株式會社
J D B H	七〇七〇	汽	大貞丸	大阪府市	大阪商船株式會社
J N L P	七四二〇	帆	勢力丸	伊豫國興居島村	緒方武平
J N L Q	七四二一	帆	勢力丸	伊豫國興居島村	緒方武平
J N R D	七五四〇	帆	第參號龍吉丸	東京市	外川常雄
J N R F	七五四一	帆	第六號萬寶丸	東京市	宇田川賀年
J N R G	七五四六	汽	勝山丸	東京市	東京海汽船株式會社
J N R H	七五四八	帆	い	東京市	日本郵船株式會社
J N R K	七五四九	帆	と	東京市	日本郵船株式會社
J N R L	七五五〇	帆	ち	東京市	日本郵船株式會社
J N R M	七五五一	帆	り	東京市	日本郵船株式會社
J N R P	七五五二	帆	る	東京市	日本郵船株式會社
J N R Q	七五五三	帆	を	東京市	日本郵船株式會社

J N R S	七五五四	帆	わ	東京市	日本郵船株式會社
J N R T	七五五五	帆	た	東京市	日本郵船株式會社
J N R V	七五五六	帆	む	東京市	日本郵船株式會社
J N R W	七五五七	帆	う	東京市	日本郵船株式會社
J N S B	七五五八	帆	の	東京市	日本郵船株式會社
J N S C	七五五九	帆	く	東京市	日本郵船株式會社
J N S D	七五六〇	帆	や	東京市	日本郵船株式會社
J N S F	七五六一	帆	ま	東京市	日本郵船株式會社
J N S G	七五六二	汽	天	東京市	日本郵船株式會社
J N S H	七五六三	帆	こ	東京市	日本郵船株式會社
J N S K	七五六四	帆	に	東京市	日本郵船株式會社
J N S L	七五六五	帆	て	東京市	日本郵船株式會社
J N S M	七五六六	帆	あ	東京市	日本郵船株式會社
J N S P	七五六七	帆	さ	東京市	日本郵船株式會社
J N S Q	七五六八	帆	き	東京市	日本郵船株式會社
J N S R	七五六九	帆	す	東京市	日本郵船株式會社
J N S T	七五七〇	帆	し	東京市	日本郵船株式會社
J N S V	七五七一	帆	せ	東京市	日本郵船株式會社

J N S W	七五七二	帆	す	東 京 市	日本郵船株式會社
J M F V	七六八六	帆	寶 丸	土佐國三原村	池川力太郎
J F W R	七八二一	帆	第三號國福丸	肥前國浦島村	坂本 國藏
J L V B	八〇一七	汽	那拾壹號安通丸	新 潟 市	株式會社安通社
J L V C	八〇一八	汽	壹號白根丸	越後國白根町	白根船務株式會社
J P G B	八〇七九	帆	第壹回漕丸	橫 濱 市	松下 錦一
J P G C	八〇八〇	帆	第四號松丸	橫 濱 市	松下 錦一
J P G D	八〇八一	帆	第五號松丸	橫 濱 市	松下 錦一
J P G F	八〇八二	帆	第八號寶清丸	橫 濱 市	松下 錦一
J P G H	八〇八四	汽	初 音 丸	橫 濱 市	橫濱船渠株式會社
J P G K	八〇八五	帆	第貳號宮清丸	橫 濱 市	木 本 清
J P G L	八〇八六	帆	第參號宮清丸	橫 濱 市	木 本 清
J P S K	八一九七	帆	金 比 羅 丸	安藝國大府中野村	山村長兵衛
J P S L	八一九八	帆	保 榮 丸	安藝國田野浦村	保上友次郎
J P S M	八二〇一	帆	稱 吉 丸	安藝國田野浦村	元 谷 衣 松
J P S N	八二〇二	帆	大 政 丸	安藝國大府南村	大政千代作
J D B K	八三四八	汽	青 島 丸	丹後國伊根村	伊根汽船會社
J D B L	八三四九	汽	新 御 玉 丸	大 阪 市	福 永 平 吉

J D B M 八三五〇 汽 新 運 丸 大 阪 市 紀 野 吉 三 郎

○遞信省告示第四百六十二號 郵便電信取扱所及郵便電信受取所ニ於テハ電信爲替證書及電信爲替通報ノ別配達ヲ取扱ハス

明治三十四年十一月十八日 遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百六十三號 明治三十年六月遞信省告示第六十七號海外電報料金表中左ノ通改正ス

明治三十四年十一月十八日 遞信大臣子爵芳川顯正

第一表大洋洲地方ノ部中呂宋「セビユ」「ネグロス」「パネー」ノ各項ヲ左ノ通改正ス

比律賓群島(The Philippine Islands) 1.7000

呂宋(Luzon) 1.7000

其他諸島 1.7000

同表東方擴張電信會社ノ線路ヲ經過スル英吉利及佛蘭西政府ノ電報ニ適用スル每一語特別料金中

大洋洲地方ノ部呂宋ノ項ヲ左ノ通改正ス 比律賓群島(The Philippine Islands) 1.7000

呂宋(Luzon) 1.7000

其他諸島 1.7000

○遞信省告示第四百六十四號 本年三月遞信省告示第二百一十一號中太平洋洲ノ部「マニラ」ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治三十四年十一月十八日 遞信大臣子爵芳川顯正

○參照 明治三十四年三月遞信省告示第二百一十一號ハ外國新聞電報ヲ送受シ得ヘキ地名及料金ノ件ナリ

○逓信省告示第四百六十五號

電話加入者ハ明治三十三年九月逓信省令第七十號ニ依リ電話所ノ電話機若クハ自働電話機ヲ以テ自己使用ニ係ル電話機ノ不通其ノ他ノ障礙ニ關シ其修理方ヲ所屬電話交換局ニ通報スルコトヲ得

明治三十四年十一月十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百六十六號

本月二十一日ヨリ志摩國志摩郡濱島郵便局ヲ三等郵便電信局トシ濱島郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第四百六十七號

本月二十六日ヨリ伊勢國飯南郡粥見郵便局ヲ三等郵便電信局トシ粥見郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第四百六十八號

本月二十四日ヨリ伊勢國度會郡宇治郵便受取所ヲ郵便電信受取所トス其ノ名稱、電報ニ關スル通

信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱 宇治郵便電信受取所

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前八時ヨリ午後九時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

但シ著信電報ハ其ノ受取所ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外之ヲ取扱ハス

○逓信省告示第四百六十九號

來十二月一日ヨリ紀伊國北牟婁郡島勝浦郵便局ヲ島勝郵便局ト改稱ス

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百七十號

來十二月一日ヨリ紀伊國北牟婁郡二木島浦郵便受取所ヲ二木島郵便受取所ト改稱ス

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百七十一號

本月二十一日ヨリ山科鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス其ノ取扱所ノ名稱、位置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱 山科電信取扱所

位置 山城國宇治郡山科鐵道停車場

一 通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一 電報ノ取扱ニ關スル制限

一 電報直配達區域 十八町以内

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

○ 逓信省告示第四百七十二號

愛媛縣下伊豫國來島海峡「ヨ」瀬橋上ニ柱燈立標建設工事中ニ付當分該標身ニ木竿ヲ假設シ白色ノ燈火ヲ點ス

但該燈火ハ水面ヨリ高サ約八尺六寸ニシテ將來堆石工事ノ進捗ニ從ヒ漸時其高サヲ増シ又風波ノ際ハ數日間燈火消滅スルコトアルヲ以テ航海者宜シク注意スヘシ

明治三十四年十一月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

○ 逓信省告示第四百七十三號

本月二十一日ヨリ後志國瀨棚郡利別郵便局ヲ三等郵便電信局トシ利別郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 電報ノ取扱ニ關スル制限

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○ 逓信省告示第四百七十四號

本月二十一日ヨリ根室國日梨郡羅臼、渡島國茅部郡尾札部、後志國忍路郡忍路、石狩國空知郡下富良野ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トス其ノ名稱、電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル

制限左ノ如シ

明治三十四年十一月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 名稱 羅臼郵便電信局

尾札部郵便電信局

忍路郵便電信局

一 電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一 電報ノ取扱ニ關スル制限

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○ 逓信省告示第四百七十五號

本年四 逓信省告示第二百七號ハ廢止ス

明治三十四年十一月二十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

〔參照〕

明治三十四年十一月 逓信省告示第二百七號ハ字品山海關間往復ノ通信船内ニ設置セル郵便取扱所ニ於テ内國電報ノ受付ヲ爲ス件ナリ

○ 逓信省告示第四百七十六號

明治三十年 逓信省告示第六百六十七號海外電報料金表第二表清國地方ノ部中直隸省ノ下「紫竹林」ノ次ニ磁州(Zhichow)ヲ河南省ノ下「河南府」ノ前ニ鄭州(Chingchow)ヲ及江西省ノ下「南昌府」ノ次ニ萬安(Wanan)ヲ追加ス

明治三十四年十一月二十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

逓信大臣子爵芳川顯正

逓信大臣子爵芳川顯正

逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十四年十一月 告示 逓信省第四百七十五號 第四百七十六號

一三七五

○遞信省告示第四百七十七號
軍艦曉へ點附ノ信號符字左ノ如シ

明治三十四年十一月二十二日

信號符字 G. Q. M. R.

名 號

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百七十八號

山口縣下周防國大島郡情島ノ南東方「センガイ」岩礁上ニ挂燈立標建設工事中ニ付當分該礁上ニ杉丸太樺ヲ假設シ水面ヨリ高サ一丈五尺ノ所ニ於テ紅色ノ燈火ヲ點ス但風波ノ際ハ數日間燈火消滅スルコトアルヘキヲ以テ航海者宜シク注意スヘシ

明治三十四年十一月二十二日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百七十九號

來十二月一日ヨリ信濃國下伊那郡下川路及能登國羽咋郡福浦ノ兩郵便局ヲ三等郵便電信局トス其ノ名稱電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

一名稱 下川路郵便電信局 福浦郵便電信局

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百八十號

來十二月五日ヨリ越中國中新川郡五百石町郵便局ヲ三等郵便電信局トシ五百石郵便電信局ト改稱

ス其ノ電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百八十一號

來十二月六日ヨリ越中國上新川郡上大久保郵便局ヲ三等郵便電信局トシ上大久保郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百八十二號

本日ヨリ葛生鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス其ノ取扱所ノ名稱、位置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十六日

遞信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱 葛生電信取扱所 位置 下野國安蘇郡葛生鐵道停車場

一 通信取扱時間 午前七時ヨリ午後十時マテ

一 電報ノ取扱ニ關スル制限

一 電報直配達區域 葛生町大字葛生一圓

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

○ 逓信省告示第四百八十三號

明治三十年六月 逓信省告示第六百六十七號 海外電報料金表中左ノ通改正ス

明治三十四年十一月二十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

第一表東方擴張電信會社ノ線路ヲ經過スル英吉利及佛蘭西政府ノ電報ニ適用スル每一語特別料金
中大洋洲地方比律賓群島ノ部呂宋及其他諸島ノ各項ヲ左ノ通改正ス

呂宋(Luzon)

1.5000

1.5000

○ 逓信省告示第四百八十四號

來十二月一日ヨリ龜有、藤、郡ノ各鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス其ノ取扱所ノ名稱、位

置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名 稱

位 置

龜有電信取扱所

武藏國南葛飾郡龜有鐵道停車場

下野國安蘇郡

下野國安蘇郡鐵道停車場

藤電取扱所

武藏國北足立郡藤鐵道停車場

一 龜有及藤電信取扱所

一 通信取扱時間 午前七時ヨリ午後七時マテ

一 電報ノ取扱ニ關スル制限

一 電報直配達區域 三町以内

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

一 郵電信取扱所

一 通信取扱時間 午前七時ヨリ午後八時マテ

一 電報ノ取扱ニ關スル制限

一 電報直配達區域 十八町以内

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

○ 逓信省告示第四百八十五號

來十二月六日ヨリ大和國生駒郡龍田郵便局ヲ三等郵便電信局トシ龍田郵便電信局ト改稱ス其ノ電

報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一 電報ノ取扱ニ關スル制限

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

○ 逓信省告示第四百八十六號

明治三十年六月 逓信省告示第六百六十七號 海外電報料金表第一表亞非利加地方ノ部中「モムパンサア」

ノ項ヲ削除シ「ラムー」「マリンデー」「ウヰツウ」ノ各項ヲ左ノ通改メ來十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十四年十一月二十八日
遞信大臣子爵芳川顯正

英領東亞非利加及「モザンビーク」(British East Africa and Uganda)
モザンビーク (Mombassa) E 九〇〇 E 24000
ラムー (Lamu) E 九〇〇 E 24000
マリンデー (Malindi) E 九〇〇 E 24000
ウヰツウ (Witu) E 九〇〇 E 24000
其他各地

○遞信省告示第四百八十七號
山口縣下長門國下ノ關海峽ノ西口組挂燈立標ノ南微東ニ碇置ノ高瀬挂燈浮標流失セリ
但舊位置へ碇置ノ上ハ更ニ其旨告示スヘシ
明治三十四年十一月二十八日
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百八十八號
來十二月一日ヨリ岩代國耶麻郡猪苗代、磐城國田村郡常葉及阿波國板野郡中村ノ各郵便局ヲ三等
郵便電信局トス其ノ名稱電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ
明治三十四年十一月二十八日
遞信大臣子爵芳川顯正

一名稱 猪苗代郵便電信局 常葉郵便電信局 中村郵便電信局
一電報ニ關スル通信取扱時間
三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ
一電報ノ取扱ニ關スル制限
一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百八十九號

來十二月六日ヨリ山城國綴喜郡八幡郵便局ヲ三等郵便電信局トシ八幡郵便電信局ト改稱ス其ノ電
報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ
明治三十四年十一月二十八日
遞信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間
三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ
一電報ノ取扱ニ關スル制限
一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百九十號
來十二月十一日ヨリ近江國野洲郡江頭郵便局ヲ三等郵便電信局トシ江頭郵便電信局ト改稱ス其ノ
電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ
明治三十四年十一月二十八日
遞信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間
三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ
一電報ノ取扱ニ關スル制限
一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第四百九十一號
來十二月十一日ヨリ紀伊國日高郡比井郵便局ヲ三等郵便電信局トシ比井郵便電信局ト改稱ス其ノ

電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十八日

逕信大臣子爵芳川顯正

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逕信省告示第四百九十二號

來十二月一日ヨリ遠江國磐田郡袋井郵便局ヲ三等郵便電信局トシ袋井郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十一月二十九日

逕信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逕信省告示第四百九十三號

來十二月十七日ヨリ長門國大津郡渡場郵便局ヲ同國同郡菱海村大字新別名ニ移轉シ八丸塚郵便局ト改稱ス

明治三十四年十一月三十日

逕信大臣子爵芳川顯正

○臺灣總督府告示第二百二號 (官報 十二月七日)

明治三十二年告示第七十三號鹽務總館擔當者中新竹鹽務總館承辦郎拱辰ヲ削ル

明治三十四年十月十日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第三百三號 (官報 十二月七日)

官幣大社臺灣神社鎮座式並大祭日左ノ通定メラル

明治三十四年十月十日

大祭 臺灣總督男爵兒玉源太郎 每年十月二十八日

鎮座式

○臺灣總督府告示第四百四號 (官報 十一月七日)

臺南縣管下東港ニ建設セル警報信號標紅燈破損ニ付當分夜間信號ノ揭示ヲ停止ス

明治三十四年十月十一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第五百五號 (官報 十一月七日)

明治三十一年告示第二十五號別冊臺灣發川石山經過海外電報料金表第二表清國地方ノ部中直隸省ノ下「朝陽縣」ノ次ニ「正定府(Shindingfu)」「永平」ノ次ニ「順德府(Zandau)」ヲ挿入シ甘肅省ノ下「〇・七〇〇〇」ヲ「〇・六四〇〇」ニ陝西省ノ下「〇・六四〇〇」ヲ「〇・五八〇〇」ニ東部土耳其蘇丹ノ下「〇・七六〇〇」ヲ「〇・七〇〇〇」ニ及「河南省」ヲ左ノ通改正ス

明治三十四年十月十五日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

河南省 (Henanfu)
懷慶府 (Hwaikingfu)
開封 (Kaifong)
陝州 (Shenchow)
彰德府 (Changdehfu)
歸德府 (Kuiduhfu)
新蔡府 (Sainchahfu)

〇六四〇〇

〇七六〇〇

○臺灣總督府告示第六六號 (官報 十一月八日)

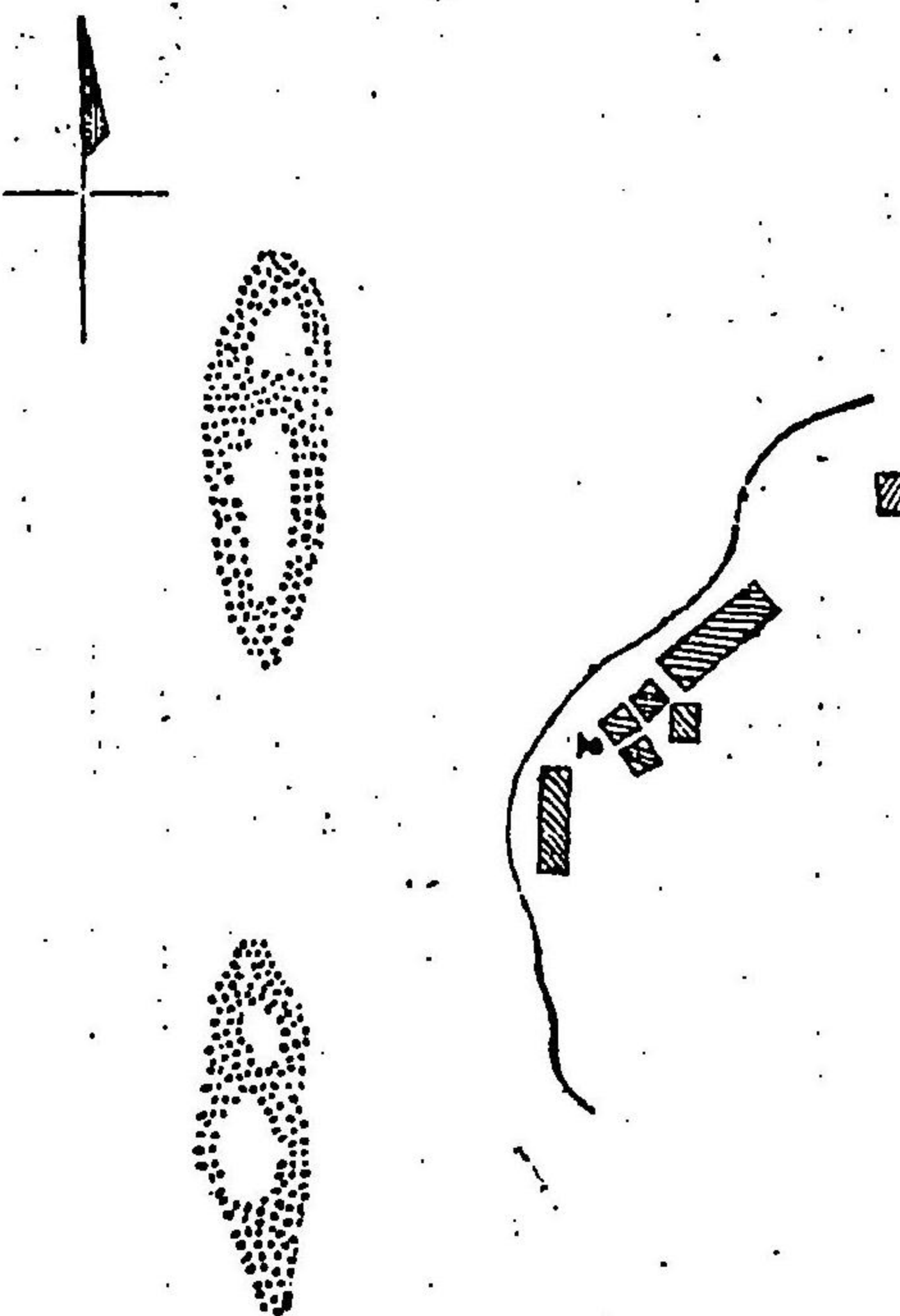
臺南縣管下大坵田西堡布袋嘴ニ警報信號標ヲ建設シ明治三十四年十一月一日ヨリ揭示ス但揭示方

ハ明治三十年告示第六十二號ニ依ル

明治三十四年十月十六日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

上ハ警報信號標所在地



○臺灣總督府告示第七號 (官報十一月八日)

明治三十三年九月告示第七十八號同三十四年八月告示第八十二號ヲ以テ流轉ノ旨告示シタル臺北縣淡水港南北兩門洲及ハ一ポール浮標ハ孰レモ左ノ通舊位置ニ碇置セリ

明治三十四年十月十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

北門洲浮標
一該浮標ハ鐵造圓錐形黑色塗ニシテ其ノ頭ニ籠球ヲ戴キ水面上高サ一丈二尺五寸

南門洲及ハ一ポール兩浮標

一該浮標ハ鐵造圓錐形其ノ頭三角形ニシテ赤色ニ塗リ水面上高サ一丈二尺五寸

○臺灣總督府告示第八號 (官報十一月八日)

明治三十一年七月府令第四十三號臺灣總督府一等郵便電信局名稱位置及管轄區域中左ノ通改正ス
明治三十四年十月十九日
臺灣總督男爵兒玉源太郎

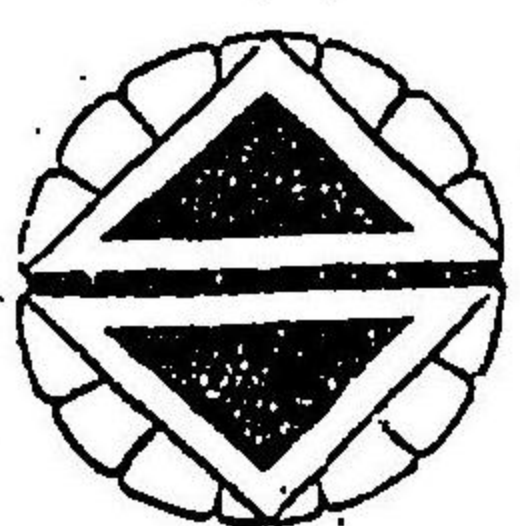
名	稱	位	置	管	轄	區	域
臺中郵便電信局	臺	中	臺中縣管下一圓及臺南縣管下ノ内打猫西堡牛稠溪堡				
臺南郵便電信局	臺	南	臺南縣管下ノ内打猫西堡牛稠溪堡ヲ除ク外一圓及澎湖臺東鹿耳門各管下一圓				

○臺灣總督府告示第九號 (官報十一月八日)

官幣大社臺灣神社御靈代臺北御滯在中ハ臺灣總督府内御眞影室ヲ以テ齋館ニ充テラル
明治三十四年十月二十二日
臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第十號 (官報十一月八日)

官幣大社臺灣神社徽章左ノ通相定ス
明治三十四年十月二十二日
臺灣總督男爵兒玉源太郎



○臺灣總督府告示第百十一號 (官報 十一月八日)
來十月二十七日官幣大社臺灣神社鎮座式舉行ニ付當日參列スヘキ者左ノ如シ

明治三十四年十月二十二日

在臺北高等文武官

縣廳參事

總督府判任文武官總代三名

○臺灣總督府告示第百十二號 (官報 十一月八日)
來十月二十七日官幣大社臺灣神社鎮座式舉行ニ付當日參列ヲ許サル者左ノ如シ

明治三十四年十月二十二日

在臺北從六位勳六等以上ノ者

官幣大社臺灣神社祭典委員二十名

日本赤十字社臺北支部總代一名

在臺北紳章佩用者

神宮奉齋會臺灣支部總代一名

大日本武德會臺北支部總代一名

○臺灣總督府告示第百十三號 (官報 十一月八日)
來十月二十八日官幣大社臺灣神社大祭舉行ニ付當日參列ヲ許サル者左ノ如シ

明治三十四年十月二十二日

在臺北高等文武官

在臺北從六位勳六等以上ノ者

縣廳參事

臺灣總督府男爵兒玉源太郎

辨務署參事各一名

街庄社長總代三名

臺灣總督府男爵兒玉源太郎

臺灣協會臺灣支部總代一名

臺灣教育會總代一名

臺灣經濟研究會總代一名

官幣大社臺灣神社敷地獻納者總代一名

官幣大社臺灣神社物品獻納者總代一名

臺灣總督府男爵兒玉源太郎

總督府判任文武官總代三名

辨務署參事各一名

街庄社長總代三名

官幣大社臺灣神社祭典委員

日本赤十字社臺北支部總代一名

在臺北紳章佩用者

神宮奉齋會臺灣支部總代一名

大日本武德會臺北支部總代一名

○臺灣總督府告示第百十四號 (官報 十一月八日)
來十月二十七日官幣大社臺灣神社鎮座式當日ハ午後四時ヨリ同二十八日同社大祭當日ハ午後二時

ヨリ衆庶ノ參拜ヲ許サル

ヨリ衆庶ノ參拜ヲ許サル

明治三十四年十月二十二日

○臺灣總督府告示第百十五號 (官報 十一月十六日)
明治三十四年十月二十二日告示第百十二號同告示第百十三號中左ノ追加ス

明治三十四年十月二十四日

貴族院議員

衆議院議員

○臺灣總督府告示第百十六號 (官報 十一月十六日)
故北白川宮妃殿下御渡盃ニ付本島ニ於ケル慈善ノ資ニ供セシメラルヘキ思召ヲ以テ金五千圓下賜

セラル

セラル

明治三十四年十月二十六日

○臺灣總督府告示第百十七號

明治三十四年十月六日告示第百六十一號 同年九月告示第九十六號臺灣總督府專賣局及支局出張所ノ名稱、位

○宮内省告示第十六號

本月十日帝國議會開院式ヲ行ハセラル、旨 仰出サル

明治三十四年十二月七日

宮内大臣子爵田中光顯

○宮内省告示第十七號

來明治三十五年新年式左ノ通定メラル

拜賀ノ向ハ時刻三十分前參内スヘシ

不參ノ向ハ其旨本月二十六日マテニ式部職へ届出ツヘシ

明治三十四年十二月二十一日

宮内大臣子爵田中光顯

明治三十五年

新年式

一日

午前五時三十分

四方拜

同 七時三十分

晴御膳

同 九時三十分

親王同妃王同妃宮内官(親任官公爵從一位勳一等一等官侯爵正二位二等官同夫人並奏任官等)拜賀

同 十時

大勳位親任官公爵從一位勳一等一等官侯爵正二位二等官爵香間祇候錦鷄間祇候同夫人拜賀

同 十一時

准勅任雇外國人同夫人拜賀
神佛各宗派管長拜賀

三等官拜賀

奏任待遇參賀

午後二時 各國公使公使館員同夫人拜賀
 同 二時十分 勳三等以上外國人同夫人拜賀
 時刻 各處ニ於テ 准委任雇外國人並勳四等以下勳六等以上外國人拜賀
 判任官准判任判任待遇各廳ニ參賀

二日

午前七時三十分 晴御膳
 同 九時二十分 伯爵從二位勳二等子爵正從三位勳三等男爵正從四位同夫人拜賀
 同 九時五十分 四等官五等官拜賀
 同 十一時三十分 貴族院衆議院正副議長議員拜賀
 同 十一時四十分 六等官以下九等官以上拜賀
 奏任待遇ノ神職拜賀
 正五位以下從六位以上勳四等以下勳六等以上拜賀
 門跡寺院住職拜賀
 正七位以下勳七等以下參賀

東宮御所

一日二日ノ内午前九時ヨリ午後四時マテ左ノ諸員參賀
 大勳位親任官公爵從一位勳一等一等官侯爵正二位二等官爵香間祇候
 錦鍋問祇候伯爵從二位勳二等子爵正從三位勳三等男爵正從四位同夫人

神佛各宗派管長

三等官以下九等官以上准委任奏任待遇
 正五位以下勳四等以下門跡寺院住職

三日

午前七時三十分 晴御膳
 同 十時 元始祭
 賢所 皇靈殿 神殿 御親祭

四日

午前十時 政始
 先奏 神宮ノ事

六日

午前十二時 新年宴會
 親王王大勳位親任官公爵從一位勳一等一等官侯爵正二位二等官爵
 香間祇候錦鍋問祇候侯貴族院議長衆議院議長及各國公使陪宴
 在京伯子男爵及有位華族ハ宮中ニ於テ賜饌
 在京奏任官ハ各廳ニ於テ賜饌
 在京貴族院衆議院副議長議員ハ各議院ニ於テ賜饌

八日

午前十時 陸軍始

○内務省告示第九十號

一中越事開 富山縣富山市惣曲輪二百九十五番地和泉政三發行
右出版物ハ其ノ第四號記載事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依
リ出版スルコトヲ差止ム

明治三十四年十二月七日

内務大臣男爵内海忠勝

○内務省告示第九十一號

一明治三十五年九星表 全(一册) 渡洲岐早米屋町八十八番戸上田豐作發行
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十二月七日

内務大臣男爵内海忠勝

○内務省告示第九十二號

一明治三十五年九星早見 一册 大阪府南區心齋橋筋一丁目十三番屋敷澤山收蔵發行
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十二月九日

内務大臣男爵内海忠勝

○内務省告示第九十三號

一明治三十五年九星早見 一册 京都府三条通リ五番地寶田金藏
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十二月十七日

内務大臣男爵内海忠勝

○内務省告示第九十四號

明治三十三年^四内務省告示第二十九號及本年^八同告示第五十五號、同年^十同告示第六十七號ヲ以
テ設置シタル左ノ府縣検査官ハ本月限廢止ス

- 大阪府 新瀨縣 宮城縣 福島縣 巖手縣 青森縣 群馬縣 山形縣 秋田縣

明治三十四年十二月十八日

内務大臣男爵内海忠勝

○内務省告示第九十五號

一明治三十五年九星便 一册 大阪府南區心齋橋筋一丁目十三番屋敷澤山收蔵
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十四年十二月十九日

内務大臣男爵内海忠勝

○内務省告示第九十六號

郡市ノ區域ニ依ラサル警察管轄區域表中大阪府南警察署、難波警察署、北警察署及曾根崎警察署
ノ部左ノ通り改メ明治三十五年一月一日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月二十日

内務大臣男爵内海忠勝

管 名	管 轄	管 區	管 域
南警察署	大阪市南區ノ内	内安堂寺町通一丁目同二丁目同三丁目同四丁目同五丁目同六丁目同七丁目同八丁目同九丁目同十丁目同十一丁目同十二丁目同十三丁目同十四丁目同十五丁目同十六丁目同十七丁目同十八丁目同十九丁目同二十丁目同二十一丁目同二十二丁目同二十三丁目同二十四丁目同二十五丁目同二十六丁目同二十七丁目同二十八丁目同二十九丁目同三十丁目同三十一丁目同三十二丁目同三十三丁目同三十四丁目同三十五丁目同三十六丁目同三十七丁目同三十八丁目同三十九丁目同四十丁目同四十一丁目同四十二丁目同四十三丁目同四十四丁目同四十五丁目同四十六丁目同四十七丁目同四十八丁目同四十九丁目同五十丁目同五十一丁目同五十二丁目同五十三丁目同五十四丁目同五十五丁目同五十六丁目同五十七丁目同五十八丁目同五十九丁目同六十丁目同六十一丁目同六十二丁目同六十三丁目同六十四丁目同六十五丁目同六十六丁目同六十七丁目同六十八丁目同六十九丁目同七十丁目同七十一丁目同七十二丁目同七十三丁目同七十四丁目同七十五丁目同七十六丁目同七十七丁目同七十八丁目同七十九丁目同八十丁目同八十一丁目同八十二丁目同八十三丁目同八十四丁目同八十五丁目同八十六丁目同八十七丁目同八十八丁目同八十九丁目同九十丁目同九十一丁目同九十二丁目同九十三丁目同九十四丁目同九十五丁目同九十六丁目同九十七丁目同九十八丁目同九十九丁目同百丁目	同
難波警察署	大阪市南區ノ内	西濱通一丁目同二丁目同三丁目同四丁目同五丁目同六丁目同七丁目同八丁目同九丁目同十丁目同十一丁目同十二丁目同十三丁目同十四丁目同十五丁目同十六丁目同十七丁目同十八丁目同十九丁目同二十丁目同二十一丁目同二十二丁目同二十三丁目同二十四丁目同二十五丁目同二十六丁目同二十七丁目同二十八丁目同二十九丁目同三十丁目同三十一丁目同三十二丁目同三十三丁目同三十四丁目同三十五丁目同三十六丁目同三十七丁目同三十八丁目同三十九丁目同四十丁目同四十一丁目同四十二丁目同四十三丁目同四十四丁目同四十五丁目同四十六丁目同四十七丁目同四十八丁目同四十九丁目同五十丁目同五十一丁目同五十二丁目同五十三丁目同五十四丁目同五十五丁目同五十六丁目同五十七丁目同五十八丁目同五十九丁目同六十丁目同六十一丁目同六十二丁目同六十三丁目同六十四丁目同六十五丁目同六十六丁目同六十七丁目同六十八丁目同六十九丁目同七十丁目同七十一丁目同七十二丁目同七十三丁目同七十四丁目同七十五丁目同七十六丁目同七十七丁目同七十八丁目同七十九丁目同八十丁目同八十一丁目同八十二丁目同八十三丁目同八十四丁目同八十五丁目同八十六丁目同八十七丁目同八十八丁目同八十九丁目同九十丁目同九十一丁目同九十二丁目同九十三丁目同九十四丁目同九十五丁目同九十六丁目同九十七丁目同九十八丁目同九十九丁目同百丁目	同

○大藏省告示第五十六號
明治三十五年一月一日ヨリ同年三月三十一日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通
明治三十四年十二月二日
内外貨幣比較表
大藏大臣曾禰荒助

英 領 印 度	外 國 貨 幣	日 本 金 貨
一ル一ビ一		六六〇
一ル一ブル		〇五三
一ドル	三三二 二六九 九二八	
一ドル半		九六五
一ドル半		九八五
一ナカル		九四九
		五七九

○大藏省告示第五十七號
第三回二十九年發行
一無記名軍事公債證書額面百圓券附屬利札
一枚
但明治三十三年十二月渡ノ分
右長野縣小縣郡大門村貳百五拾七番地柳澤市五郎所有ノ處明治三十一年九月七日水害ノ爲メ消滅

セシ趣ヲ以テ代利札ヲ請求セシモ仕拂期已ニ經過シタルニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之レカ
利金ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス
大藏大臣曾禰荒助
明治三十四年十二月七日

○大藏省告示第五十八號
德島本金庫所屬富岡支金庫ヲ明治三十四年十二月二十二日ヨリ德島縣那賀郡富岡村大字富岡町東
仲町へ移ス
大藏大臣曾禰荒助
明治三十四年十二月十二日

○大藏省告示第五十九號
第一回發行
一無記名軍事公債證書額面五百圓券附屬利札
一枚
但明治三十四年六月渡ノ分
右山口縣佐波郡西浦村第三百九十六番屋敷林藤三郎所有ノ處明治三十四年六月十日消滅セシ趣ヲ
以テ代リ利札ヲ請求セシモ仕拂期已ニ經過シタルニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之カ利金ヲ交
付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス
大藏大臣曾禰荒助
明治三十四年十二月二十七日

○大藏省告示第六十號
第二回發行
一無記名軍事公債證書五拾圓券
一枚
但明治三十四年六月渡以降利札附屬
右埼玉縣北埼玉郡三田ヶ谷村大字三田ヶ谷三番地柿沼宅助所有ノ處明治三十四年八月十三日火災
ニ罹リ消滅ノ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ但消滅
シタル證書ハ無効トス
大藏大臣曾禰荒助
明治三十四年十二月二十八日

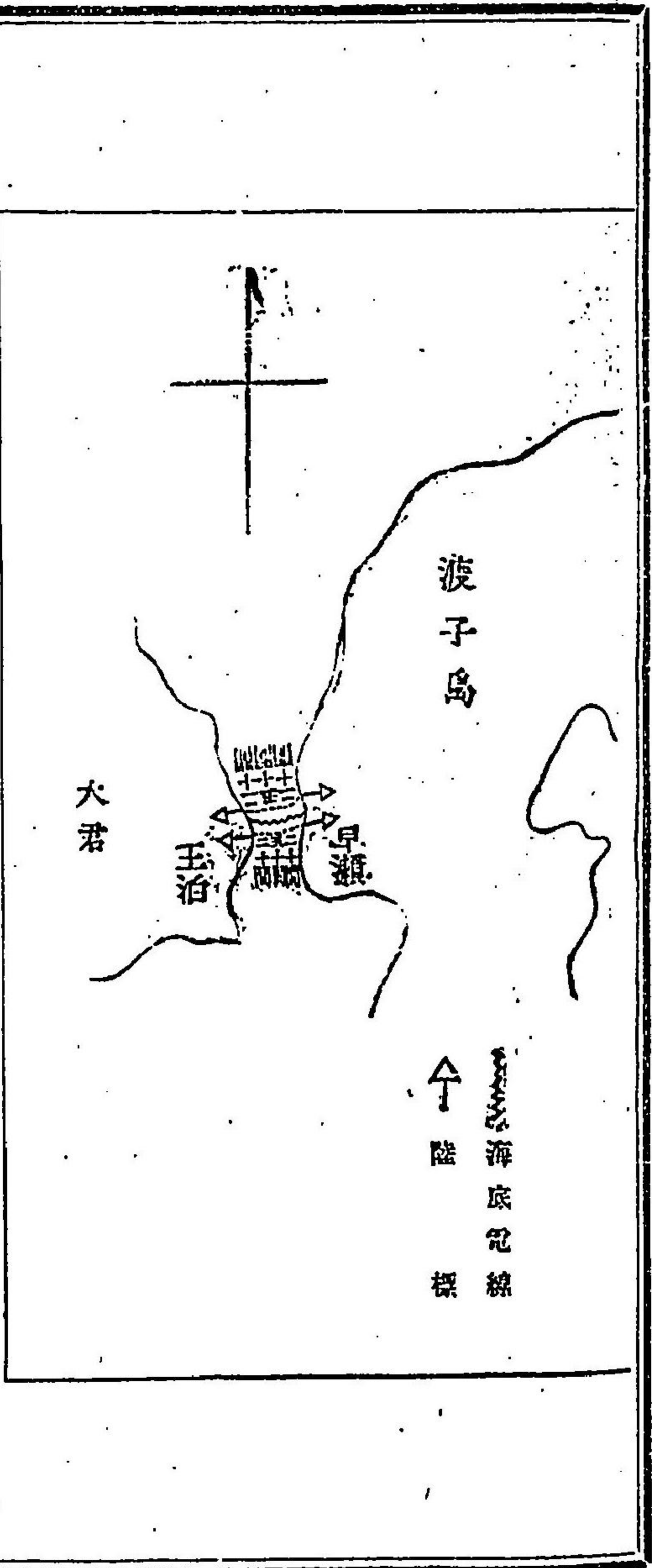
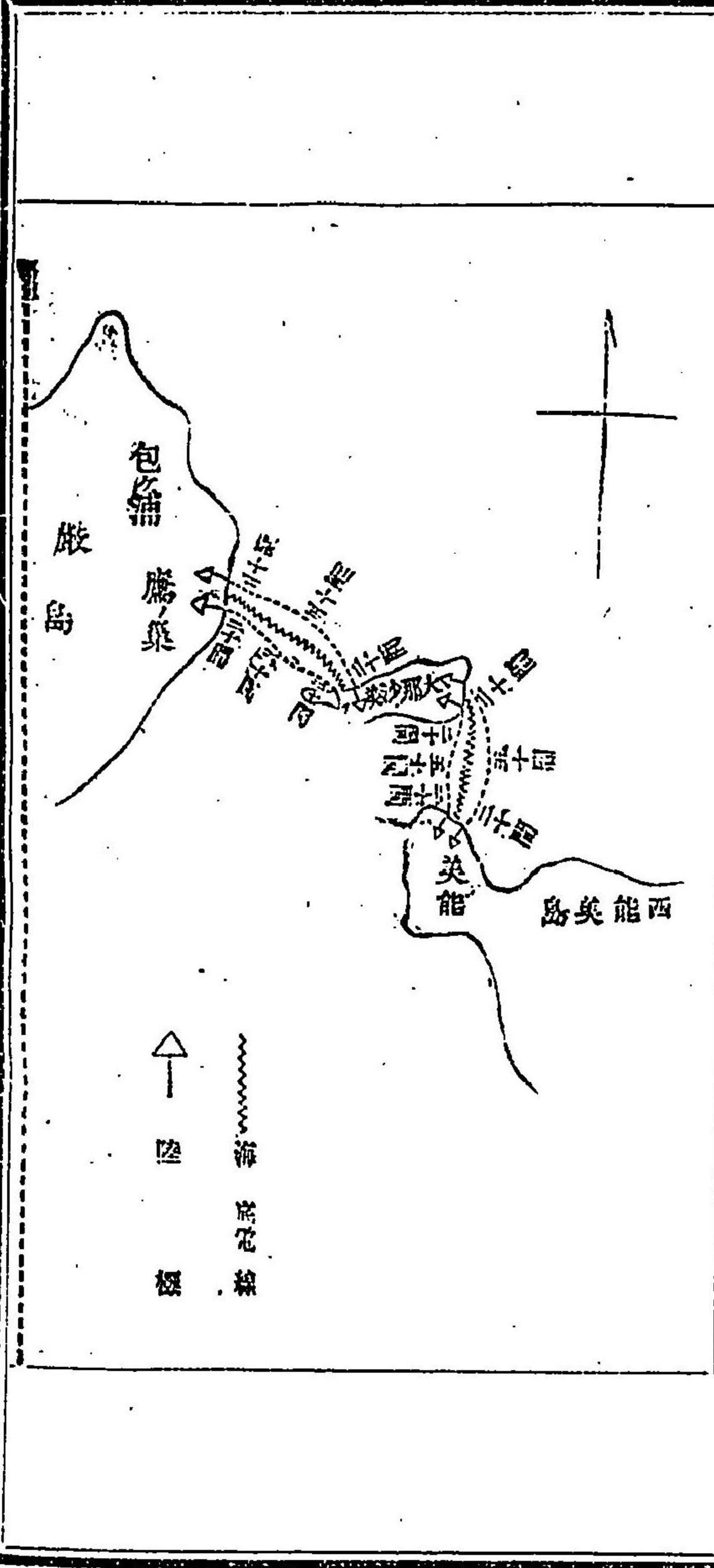
明治三十四年十二月 告示 陸軍省第十三號

一四〇六

○陸軍省告示第十三號
安藝國佐伯郡嚴島町字鷹ノ巣ヨリ同國同郡三高村大字高祖字大那沙美島北岸間及同島東岸ヨリ同郡同村大字高祖字美能間竝ニ同郡大柿村大字大君字王泊ヨリ同國安藝郡渡子島村字早瀬間ニ海底電線各一條ヲ布設シ其線路ノ各兩端末ヨリ距離百五十間ハ左右各二十間以內其他ノ部分ハ左右各五十間以內ヲ該線路ト定ム

明治三十四年十二月六日

陸軍大臣男爵兒玉源太郎



○海軍省告示第二十號

明治三十三年海軍省令第十六號要塞地帶法施行規則第二條但書ノ區域及事項左ノ如シ

陸奥國大湊ニ於ケル海軍防禦營造物ノ地帶中第一區第二區ニ於ケル竹木林ノ伐採

明治三十四年十二月二十日

海軍大臣山本權兵衛

○司法省告示第六十六號

甲府地方裁判所管内甲府區裁判所兼見出張所ニ備ヘアリシ明治三十二年五月十九日受附第九百四十六號賣渡人北巨摩郡大泉村小池忠成買受人同村谷戸吉平間ノ同村字谷戸第二千五百四番田六畝

明治三十四年十二月 告示 海軍省第二十號 司法省第六十六號

一四〇七

十步同村同字第二千五百五十五番田二畝十四歩ノ買賣證書ノ謄本一通紛失シタリ

明治三十四年十二月十一日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十七號

新潟縣中頸城郡直江津町大字直江津

株式會社北越倉庫銀行

右供託法第五條第一項ニ依リ指定ス

明治三十四年十二月十三日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第六十八號

山梨縣西八代郡富里村戸籍役場備附ノ身分登記簿中明治三十三年本籍人身分登記簿正本一冊同年一月ヨリ本年四月十五日マテノ間ニ於テ紛失シタリ

明治三十四年十二月二十六日

司法大臣清浦奎吾

○文部省告示第二百四號

北海道後志國岩内郡岩内ニ設置セル道廳立警報信號標ハ破損シタルヲ以テ修繕中揚卸ヲ中止ノ旨報告セリ

明治三十四年十二月二日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百五號

富山縣氷見郡氷見町大字氷見今町ニ設置セル縣立警報信號標ハ修繕中揚卸ヲ中止シタル處更ニ明治三十四年十一月二十五日ヨリ實施ノ旨報告セリ

明治三十四年十二月四日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百六號

靜岡縣駿東郡御厨町御殿場ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ靜岡縣駿東郡御厨町外十箇村組合立御

殿場農業學校設置ノ件認可セリ

明治三十四年十二月七日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百七號

山形縣東村山郡出羽村ニ徒弟學校規程ニ依リ東村山郡立染織學校ヲ設置ノ件認可セリ

明治三十四年十二月十二日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百八號

右ハ文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十四年十二月十六日

市立大阪高等商業學校甲種商業科

○文部省告示第二百九號

東京市本郷區東竹町ニ商業學校規程甲種程度ニ依リ私立京華商業學校設置ノ件認可セリ

明治三十四年十二月十七日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十四年十二月十八日

東京府私立新義真言宗豐山派高等中學校

○文部省告示第二百十一號

地方廳ニ於テ小學校令第二十四條ノ審査用ニ供シ又ハ既ニ採定セル小學校教科用圖書ノ紙質印刷等ノ標準ニ供センカ爲地方廳又ハ圖書發行者ノ請求アリタルトキハ本省ニ於テ其圖書ニ檢印ヲ與フヘシ

明治三十四年十二月十八日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十二號

廣島縣廣島市下中町ニ廣島縣立廣島高等女學校ヲ設置シ明治三十五年四月一日ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十四年十二月二十日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十三號

香川縣高松市ニ設置セル私立香川縣高等女學校ヲ縣立ニ變更シテ香川縣立高松高等女學校ト改稱シ明治三十五年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十四年十二月二十一日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十四號

明治三十三年ハ文部省告示第八十三號但書副科生ノ下及ノ字ヲ削リ普通研究生ノ下ニ第一種高等師範科生及撰科生ノ十三字ヲ追加ス

明治三十四年十二月二十一日

文部大臣理學博士菊池大麓

〔參照〕

明治三十三年ハ七〇七ニ文部省告示第八十三號ハ東京府私立日本法律學校ヲ徵兵令ニ依リ認定但其ノ效力ハ正科生副科生及普通研究生ニ及ハサル件ナリ

○文部省告示第二百十五號

東京市牛込區馬場下町ニ商業學校規程甲種以上ノ程度ニ依リ私立早稻田實業學校設置ノ件認可セリ

明治三十四年十二月二十三日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十六號

廣島縣立尾道商業學校

右ハ文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十四年十二月二十四日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十七號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス但認定ノ效力ハ乙科生及別科生ニ及ハス

明治三十四年十二月二十四日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十八號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス
長野縣西筑摩郡立甲種木曾山林學校

明治三十四年十二月二十四日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百十九號

廣島縣立廣島商業學校

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス
但認定ノ效力ハ乙種科生ニ及ハス

明治三十四年十二月二十六日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百二十號

東京府東京市麻布區北日下窪町及材木町ニ東京府立第二高等女學校ヲ設置シ明治三十五年四月ヨリ假リニ同區鳥居阪町ニ於テ開校ノ件認可セリ

明治三十四年十二月二十六日

文部大臣理學博士菊池大麓

○文部省告示第二百二十一號

奈良縣立工業學校本科

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十二月二十八日

○文部省告示第二百二十二號

福島縣立福島高等女學校ヲ同縣信夫郡福島町大字會根田字濱江場同字雨籠濱邊村大字小山荒井字石田同字谷地同大字腰濱字御山道上地内ニ設置シ明治三十六年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十二月二十九日

○文部省告示第二百二十三號

豐橋町立高等女學校ヲ愛知縣渥美郡豐橋町大字西八町ニ設置シ明治三十五年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十二月二十九日

○文部省告示第二百二十四號

東京府私立開成中學校

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十二月二十九日

○文部省告示第二百二十五號

東京府私立中學郁文館

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

文部大臣理學博士菊池大麓

明治三十四年十二月二十九日

○文部省告示第二百二十六號

實業學校教員養成規程第四條ニ依リ明治三十五年度ニ於テ學資ヲ補助スヘキ農科大學學生生徒及工業教員養成所、農業教員養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數左ノ通相定ム

明治三十四年十二月二十九日

文部大臣理學博士菊池大麓

一農科大學學生生徒

凡七名

一工業教員養成所ニ募集スヘキ生徒

凡五十三名

一農業教員養成所ニ募集スヘキ生徒

凡三十名

○農商務省告示第百五十一號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

農商務大臣平田東助

明治三十四年十二月三日

區 郡 村 大字 字 地番 地目 面積 所有者 申請者

備後 深安 上谷田 同 鼓谷山 同 山林 11000 國 下竹田村外二箇村組合村長代理 助役 佐藤嘉兵衛

○農商務省告示第百五十二號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

農商務大臣平田東助

明治三十四年十二月三日

區 郡 村 大字 字 地目 面積 所有者 申請者

備後 鞆 調 木ノ庄 木梨 根木 山林 18355 國 水ノ庄村長 三次徳右衛門

○農商務省告示第五十三號
明治三十三年農商務省告示第二十八號中左ノ通改正ス

明治三十四年十二月六日

農商務大臣平田東助

第三項乃至第六項ヲ左ノ通改ム

三 整理地區及之ニ鄰接スル土地ノ現形圖(離形第一號)ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ

(一) 整理地區ノ境界

(二) 整理地區ニ鄰接スル土地ノ狀況

(三) 水流ノ方向

(四) 方位

(五) 道路、溝渠、堤塘、橋梁等

(六) 府縣、郡市、町、村、大字及字ノ境界並其名稱

(七) 土地各筆ノ區劃及地目

(八) 土地各筆ノ番號

四 整理豫定圖(離形第二號)ニハ前項第一號乃至第七號ニ掲ケタル事項ヲ示スヘシ

五 整理確定圖(離形第三號)ニハ第三項第一號乃至第七號ニ掲ケタル事項ノ外土地各筆ノ豫定番號及從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ部分並其符號ヲ示シ之ニ換地說明書ヲ添附スヘシ

換地說明書(樣式第九號)ニハ整理確定圖ニ基ツキ從前ノ土地ト換地トヲ對照說明スヘシ

第九號

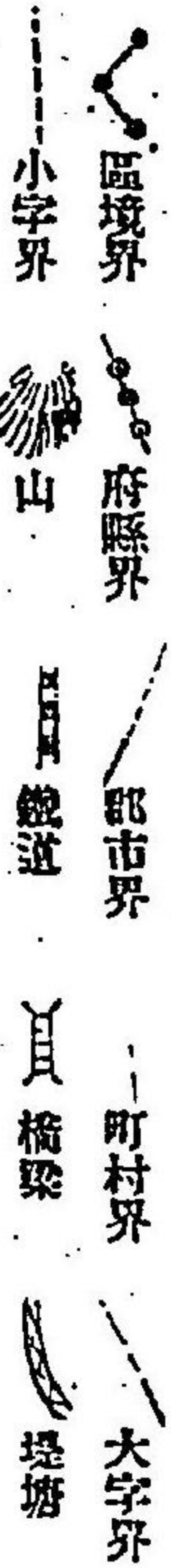
換地說明書

從前ノ土地		換地		備考	
字番	地目	面積	字番	地目	面積
江月一番田	八畝步	江月一番田	八畝步		
同 二番田	四畝十五步	同 二番田	一段步	二番二	南 四畝十五步
同 三番田	五畝十五步	同 三番田	一段步	三番二	北 五畝十五步
同 四番田	九畝十五步	同 四番田	一段步		
同 五番田	一段十五步	同 五番田	一段步		
同 六番田	二段步	同 六番田	一段步		
同 七番田	八畝步	同 七番田	一段步		

離形第一號

何府縣何郡何市何町付大字何
整理地區及之ニ鄰接スル
土地現形圖

縮尺何分ノ一



同 三池郡三池	三〇〇三	一四・五三	三三〇〇		
佐賀縣東松浦郡	一九〇九	五・九二	一一八二		
同 杵島郡	一八三九	五・九三			
同 小城郡	一七三九	五・五二	八七六		
長崎縣高島	三八・五	二九・七〇	三三・七		
西彼杵郡端島	一五〇〇	五・〇〇	一〇〇〇		
同 松島	一三三三	六・七四	七八九		
同 北松浦郡	一一二七	五・二七	八・六五		
山口縣厚狹郡				一八・五六	
和歌山縣東牟婁郡					
三重縣南牟婁郡	二六・五		三三・七		
茨城縣多賀郡	三三・五〇	一四・八九			
福島縣石城郡	三六・九	二二・六四	二六・九二		
北海道空知郡	一一〇・三				
同 釧路國					

石油

新瀉縣中瀨郡 同 三島郡尼崎町

○農商務省告示第六十號

第五回内國勸業博覽會規則第十七條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ組合共ノ他ノ團體ノ選拔ヲ經テ出品セントスルモノニ對シ事務局ニ於テ特ニ出品目錄差出

期日ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
明治三十四年十二月二十七日

農商務大臣平田東助

〔參照〕

農商務省告示第四十一號第五回内國勸業博覽會規則(明治三十四年四月十八日)抄錄
第十七條 出品ヲ爲サントスル者ハ第十部ノ出品及第十八條ニ掲ケルモノヲ除クノ外地方長官ニ願出ヘシ
地方長官前項ノ出品ヲ許可シタルトキハ甲號書式ノ出品目錄ニ通テ作り明治三十五年九月三十日限リ之ヲ事務局ニ差出
スヘシ

○農商務省告示第六十一號

京都府京都市上京區御幸町通三條上ル丸屋町二十四番戶佛教生命保險株式會社ニ對スル新契約締
結ノ停止ヲ解除シタリ

明治三十四年十二月二十九日

農商務大臣平田東助

○農商務省告示第六十二號

仙臺鐵山監督署明治三十五年一月十五日ヨリ仙臺市柳町通二十九番ノ二へ移轉ス
明治三十四年十二月二十九日

農商務大臣平田東助

○遞信省告示第四百九十四號

外國小包郵便物到達證ノ料金ハ金五錢トス

明治三十四年十二月二日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第四百九十五號

遠江國磐田郡袋井電信取扱所ニ於ケル著信電報ハ共鐵道停車場ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモ
ノノ外之ヲ取扱ハス

明治三十四年十二月二日

遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十四年十二月 告示

農商務省告示第六十一號 第四百六十二號
遞信省告示第四百九十四號 第四百九十五號

○逓信省告示第四百九十六號
本月十日ヨリ左記郵便受取所ヲ改稱ス

明治三十四年十二月四日

山城國京都市上京區寺町通九太町下ル下御靈前町
近江國滋賀郡膳所町大字膳所

改稱所名
京都寺町九太町

現所名
京都九太町
膳所村

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百九十七號

本月十一日ヨリ佐那具鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス其ノ取扱所ノ名稱、位置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月五日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱 佐那具電信取扱所 位置 伊賀國阿山郡佐那具鐵道停車場

一通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一電報直配運區域 阿山郡府中村大字佐那具及同村大字外山

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ別使配達ヲ爲サス

○逓信省告示第四百九十八號

帝國衆議院内ニ郵便電信取扱所ヲ置キ議院郵便電信取扱所ト稱シ每期議會召集中貴族院及衆議院内ヨリ發送スル通信郵便物(代金引換郵便及現金取立郵便ヲ除ク)ノ引受並ニ兩議院内ニ發着スル

電報ヲ取扱フ

但シ取扱時間毎日郵便ハ午前九時ヨリ午後八時マテ電信ハ午前十時ヨリ午後五時マテトス

明治三十四年十二月五日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百九十九號

明治三十四年十一月 逓信省告示第四百八十七號ヲ以テ山口縣下長門國下之關海峽ノ西口廻掛燈立標ノ南微東ニ碇置ノ高瀬掛燈浮標流失ノ旨告示セシ處今般舊位置ヘ碇置セリ

明治三十四年十二月六日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百號

本月十一日ヨリ越後國三島郡關原、越後國北蒲原郡築地及佐渡國佐渡郡新穂ノ各郵便局ヲ二等郵便電信局トス其ノ名稱、電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月七日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱 關原郵便電信局

築地郵便電信局

新穂郵便電信局

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第五百一號

本月十六日ヨリ肥前國東松浦郡淡路郵便局ヲ二等郵便電信局トシ淡路郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月七日

逓信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第五百二號

本月十一日ヨリ武藏國都筑郡川和、日高國榛似郡榛似及天鹽國上川郡士別ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トス其ノ名稱及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月七日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱 川和郵便電信局

榛似郵便電信局

士別郵便電信局

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第五百三號

本月十一日ヨリ天鹽國苦前郡初山別及陸奥國下北郡下風呂ノ兩郵便局ヲ三等郵便電信局トス其ノ名稱電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月七日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱 初山別郵便電信局

下風呂郵便電信局

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第五百四號

本月十一日ヨリ天鹽國上川郡士別電信取扱所ニ於ケル著信電報ハ其鐵道停車場ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外之ヲ取扱ハス

明治三十四年十二月七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百五號

明治三十四年九月逓信省告示第三百七十三號及同年十月逓信省告示第四百三十三號ヲ以テ青森縣下陸奥國下北郡尻矢崎燈臺燈器變換工事中本燈明撤去及假燈點火ノ旨告示セシ處今般該工事落成ニ付本月二十日以後毎夜閃光白色電氣燈ヲ點火ス

但燈器變換工事中假設ノ燈明ハ同日夜ヨリ撤去ス

明治三十四年十二月九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一該燈火ハ五秒時毎ニ一閃光ヲ發ス

一該燈器ハ折射器二箇ヲ備ヘ晴朝ノ夜ハ一箇ヲ溟濛ノ夜ハ二箇ヲ使用ス其燭光數ハ折射器一箇ヲ使用スル場合ニハ千三百萬ニ箇ヲ使用スル場合ニハ二千六百萬トス

一該燈臺ノ構造、明弧、燈火ノ高サ及光達距離ハ從前ノ通

○逓信省告示第五百六號

明治三十三年四月逓信省告示第六十三號第一項中「東萊府四十二錢ノ次ニ「絶影島二十錢」ヲ追加シ又第三項中「仁川郵便局ヨリ」ノ下ニ別使ヲ以テ月尾島ニ配達スル電報ハ一通ニ付金二十錢又ノ二十五字ヲ挿入ス

明治三十四年十二月十日

逓信大臣子爵芳川顯正

〔参照〕

明治三十三年十月二日逓信省告示第六十三號ハ在總領事館郵便電信局ニ於テ別便ヲ以テ電報ヲ配送スルコトヲ得
ヘキ地名其配送料及船舶配送料ノ件ナリ

○逓信省告示第五百七號

明治三十年ハ逓信省告示第六十七號海外電報料金表第二表清國地方ノ部中蒙古ノ下叻林ノ羅馬
字綴(Walia)トアルヲ(Furia)ト改メ滂江(Ponghoang)ノ次ニ買賣城(Maibakchin)ノ一項ヲ追加ス

明治三十四年十二月十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百八號

本月二十一日ヨリ左記ノ封皮及封緘紙ヲ發行ス其見本ハ郵便局所ニ備置カシム照鑑ヲ要スルモノ
ハ就テ見ルヘシ

但シ封緘紙ハ一組以下ノ賣下ヲ爲サス

明治三十四年十二月十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

價格表記郵便物封皮

二種

大形 賣價一枚金一錢五分
小形 賣價一枚金一錢

價格表記郵便物封緘紙

二種

大形 賣價一組賣價金一錢
小形 賣價一組賣價金一錢

○逓信省告示第五百九號

本月十五日ヨリ高岡及鱒波ノ兩鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス其ノ取扱所ノ名稱、位
置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置

名稱	位置
高岡電信取扱所	高岡市本町
鱒波電信取扱所	鱒波町

一高岡電信取扱所

一通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ其ノ鐵道停車場ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外之ヲ取扱ハス

一鱒波電信取扱所

一通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一電報直配運送區域 十八町以内

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

○逓信省告示第五百十號

本月十六日ヨリ駿河國駿東郡御殿場郵便局ヲ三等郵便電信局トシ御殿場郵便電信局ト改稱ス

明治三十四年十二月十三日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百十一號

本月十六日ヨリ駿河國駿東郡御殿場電信取扱所ニ於ケル著信電報ハ其鐵道停車場ヲ肩書シタルモノ
ノ及留置ト爲スモノノ外之ヲ取扱ハス

明治三十四年十二月十四日

逓信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百十二號
本月十六日ヨリ伊豆國賀茂郡長津呂海軍望樓電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス

明治三十四年十二月十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報直配達區域 一里以内

一別使配達及解船配達ヲ爲ス

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ歐字及亞刺比亞數字ヲ挿入シタルモノハ之ヲ取扱ハス

○遞信省告示第五百十三號

船舶検査法施行細則第十八條ノ規定ニ依ル船舶検査執行地ヲ左ノ通追加ス

明治三十四年十二月十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

東京海務局

赤間關海務署

周防國麻里府

横濱海務署

相模國真鶴

長崎海務局

肥前國唐津

大阪海務局

紀伊國新宮

口ノ津海務署

肥前國湊

○遞信省告示第五百十四號

明治三十二年六月遞信省告示第七十六號海務署名稱位置並管轄區域表中赤間關海務署管轄區域「山口縣トアルヲ山口縣大島郡ヲ除ク」ト改メ三津濱海務署管轄區域ニ山口縣ノ内大島郡ヲ加フ

明治三十四年十二月十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百十五號

本日ヨリ武藏國荏原郡大崎村大字上大崎ニ電話所ヲ置キ目黒停車場前電話所ト稱ス

明治三十四年十二月十六日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百十六號

本月二十日ヨリ根室國根室郡根室町大字花咲村ニ電信取扱所ヲ置キ花咲電信取扱所ト稱ス

但シ著信電報ハ花咲村ニ宛タルモノノ外之ヲ取扱ハス

明治三十四年十二月十六日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百十七號

明治三十五年一月一日ヨリ東海道線大津、石場間紺屋關驛ニ於テ乗客ノ取扱ヲ開始ス乗客賃金及

實哩程左ノ通り相定ム

明治三十四年十二月十六日

遞信大臣子爵芳川顯正

一 三等賃金

一 實哩程

自	至
馬場	石場
三錢	二錢
二錢	二錢

自	至
石場	大津
三十九錢	二十五錢

○遞信省告示第五百十八號

明治三十一年九月遞信省告示第二百二十六號中南西亞弗利加獨逸領ニ於ケル郵便爲替取扱郵便局所在地名ニリユーデーリツツフント(Underitzbuch)ヲ追加ス

明治三十四年十二月十七日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百十九號

明治三十五年一月一日以降華盛頓締結郵便爲替事務約定ニ依リ和蘭國ト郵便及電信爲替ノ直接交

機ヲ開始ス

同日以降本邦和蘭間ニ交換スル郵便爲替ハ英國郵政廳ノ媒介ヲ廢止ス

明治三十四年十二月十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百二十號

本邦郵便局所振出外國郵便局宛及外國郵便局振出本邦郵便局所宛萬國聯合郵便爲替一口ノ金額制限左ノ如シ

本告示ハ明治三十五年一月一日ヨリ施行シ明治三十一年月十二逓信省告示第三百三十九號ハ本告示施行ノ日ヨリ廢止ス

明治三十四年十二月十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

國

開通(南洋羣島)ニテハ本邦郵便局所振出外國郵便局宛及外國郵便局振出本邦郵便局所宛

四百マルク

四百圓

地地利

一千フランク

一千フランクニ對スル

白耳莖

一千フランク

本邦貨幣相當額

勃爾瓦利

五百フランク

本邦貨幣相當額

洪島利

一千フランク

本邦貨幣相當額

歷山堡

五百フランク

本邦貨幣相當額

和蘭

五百フランク

本邦貨幣相當額

羅曼尼

一千フランク

本邦貨幣相當額

瑞國

一千フランク

本邦貨幣相當額

○逓信省告示第五百二十一號

明治三十三年九月逓信省告示第三百六十六號本邦振出ノ萬國聯合郵便爲替金ヲ表示スヘキ貨幣名稱中左ノ通改正及追加シ明治三十五年一月一日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 獨逸(獨逸保護國及獨逸以外ノ國)ノ下「法、參」トアルヲ「マルク」、「フニンニヒ」ニ改ム

一 歷山堡 法、參ノ次ニ和蘭「フロリン」、「セント」ヲ加フ

○逓信省告示第五百二十二號

明治三十二年十一月逓信省告示第三百五十二號中國内總テノ郵便局ニ於テ郵便及電信爲替事務ヲ取扱フ國ノ部ニ和蘭ヲ追加シ明治三十五年一月一日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百二十三號

明治三十一年月十二逓信省告示第三百二十七號郵便爲替金ノ別配達ヲ施行スル國ニ和蘭ヲ追加シ明治三十五年一月一日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百二十四號

明治三十三年九月逓信省告示第三百六十五號中「拂渡郵便局」ノ上「歷山堡」ノ次ニ「和蘭」ヲ追加シ明治三十五年一月一日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月十七日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百二十五號

本月二十一日ヨリ陸中國東魯井郡大原陸中國九戶郡經米肥前國北松浦郡田平ノ各郵便局ヲ三等郵便電信局トス其ノ名稱「電報」ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱 大原郵便電信局 輕米郵便電信局 田平郵便電信局
一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限
一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第五百二十六號

外國郵便爲替規則第九條ニ依リ郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合
左ノ通相定メ明治三十五年一月一日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

英貨	一パウンド	九圓八七二四七	一圓ニ付五分即チ
	一シリング	四圓九三三七	ニシリング「〇」ハ「ニ」ニ五
	一ペンニー	四〇一三	
佛貨	一フランク	三九二一六	一圓ニ付「二」フランク「五」サント
	一サント	三九二	
米貨	一ダラー	二〇二〇〇	一圓ニ付四十九「セント」五
	一セント	二〇二〇	
銅貨	一マルク	四八三五〇	一圓ニ付「二」マルク「〇」ハ「二」ニ「五」

○逓信省告示第五百二十七號

逓信大臣子爵芳川顯正

本月二十日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但郵便貯金事務ヲモ取扱フ

位

局名

局名

位

局名

局名

遠江國磐田郡佐久間村大字中部	中部	贈振國此田郡狩太村	狩太
伊豆國賀茂郡仁科村大字濱村	仁科	石狩國雨龍郡一巳村	一巳
相模國鎌倉郡瀬谷村大字瀬谷	瀬谷	越後國東蒲原郡三川村大字新谷	新谷
駿河國庵原郡河内村大字和田島	和田島	尾張國中島郡萩原町大字萩原	萩原
畿前國和氣郡香登村大字香登本	香登	磐城國石城郡内郷村大字綴村	綴村
肥前國南松浦郡深ノ浦村	深ノ浦	磐城國大島郡油田村大字伊保田	伊保田
石狩國樺戸郡新十津川村	新十津川	長門國豐浦郡内日村大字内日下	内日下
石狩國空知郡音江村	音江	下野國足利郡富田村大字多田木	多田木
石狩國雨龍郡深川村	深川	信濃國上伊那郡長森村	長森
石狩國夕張郡角田村	角田	信濃國南佐久郡南相木村	南相木
贈振國此田郡此田村	此田	陸前國氣仙郡成里村	成里
日高國釧路郡別村	別	陸前國津和野郡相去村	相去
日高國沙流郡厚別村	厚別	陸奥國上北郡法興寺村大字奥蔵	奥蔵

羽後國仙北郡中川村大字山谷川崎
 陸奥國上北郡六月村大字大落瀬
 陸奥國今立郡河和田村大字小坂
 能登國鳳至郡柳田村大字柳田
 能登國阪井郡桑葉村大字波佐
 能登國鹿島郡北火香村大字佐々波

日三市嶺山
 平泉
 古間木
 小坂
 正田
 柳田
 波佐

伊豫國新居郡加茂村大字千町山
 伊豫國新居郡大保木村大字大保木
 伊豫國喜多郡大瀨村
 伊豫國喜多郡出海村
 阿波國麻植郡川田村
 薩摩國伊佐郡山野村大字山野
 上總國夷隅郡御宿村大字久保
 日向國北嶺縣郡山之口村大字山之口

千町山
 大保木
 大瀨
 出海
 山野
 山野
 山之口

○逓信省告示第五百二十八號
 本月二十日ヨリ左記ノ逓郵便局ヲ移轉改稱ス

明治三十四年十二月十九日

現位 現局名
 大和國宇陀郡 内 收
 下野國足利郡 梁 田
 羽前國南村山郡 高 湯
 陸奥國西磐井郡 浦 津
 土佐國幡多郡 以 布 利
 阿波國那賀郡 桑 野
 越前國丹生郡 江 波
 越中國射水郡 堀 新

移 轉 位 置
 大和國宇陀郡内收村大字高井
 下野國足利郡御厨村大字福居
 羽前國南村山郡柳田村大字牛嶺
 陸奥國西磐井郡花泉村
 土佐國幡多郡清松村大字清水
 阿波國那賀郡橋浦村
 越前國丹生郡織田村大字織田
 越中國射水郡海老江村大字海老江

改稱局名
 高井
 福居
 牛嶺
 花泉
 清水
 橋浦
 織田
 海老江

○逓信省告示第五百二十九號
 本月二十日ヨリ左記ノ逓郵便局ヲ移轉ス

明治三十四年十二月十九日

現位 現局名
 紀伊國日高郡 川 上
 土佐國長岡郡 東 豊 永

移 轉 位 置
 紀伊國日高郡川上村大字川原河
 土佐國長岡郡東豊永村大字大瀬

川原河
 大瀬

○逓信省告示第五百三十號
 本日限リ上總國夷隅郡長志郵便局ヲ廢止ス但同局ニ於テ取扱ヒタル通常爲替小爲替及郵便貯金ニ關スル事務ハ長志郵便受取所ニ於テ又電信爲替郵便受取立金ニ關スル事務ハ御宿郵便局ニ於テ繼續取扱ハシム

明治三十四年十二月十九日

○逓信省告示第五百三十一號
 本月二十日ヨリ左記郵便受取所ヲ設置ス但郵便貯金事務ヲモ取扱フ

明治三十四年十二月十九日

上總國夷隅郡東村大字長志
 越前國丹生郡宮崎村大字江波
 越中國射水郡柳田村大字柳田新
 羽前國南村山郡柳田村大字高湯

所 名
 長 志
 江 波
 柳 田
 高 湯

位 置
 下野國足利郡梁田村大字梁田
 陸奥國西磐井郡浦津村
 土佐國幡多郡上灘村大字以布利
 阿波國那賀郡桑野村大字桑野

所 名
 梁 田
 浦 津
 以 布 利
 桑 野

○逓信省告示第五百三十二號
 本日限リ左記郵便受取所ヲ廢止ス但當該郵便受取所ニ於テ取扱ヒタル郵便爲替郵便貯金ニ關スル事務ハ左記郵便局ニ於テ繼續取扱ハシム

明治三十四年十二月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

位 置	所 名	繼 續 局 名	位 置	所 名	繼 續 局 名
上野國東陽郡	御 宿	御 宿	羽後國仙北郡	日三市嶺山	日三市嶺山
遠江國磐田郡	中 部	中 部	陸奥國上北郡	古 間 木	古 間 木
備前國和氣郡	香 登	香 登	土佐國幡多郡	清 水	清 水
石狩國雨龍郡	妹 牛	妹 牛	阿波國那賀郡	橋 浦	橋 浦
石狩國夕張郡	栗 山	栗 山	阿波國阿波郡	岩 津	岩 津
尾張國中島郡	萩 原	萩 原	越前國丹生郡	織 田	織 田
周防國大島郡	伊 田	伊 田	下野國足利郡	山 野	山 野
信濃國上伊那郡	長 原	長 原	薩摩國伊佐郡	山 野	山 野
陸中國薩摩郡	六 原	六 原			

○逓信省告示第五百二十三號

本月二十一日ヨリ長門國大津郡人丸埜郵便局ヲ三等郵便電信局トシ人丸埜郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第五百三十四號

本月二十一日ヨリ周防國吉敷郡秋穂郵便局ヲ三等郵便電信局トシ秋穂郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○逓信省告示第五百三十五號

本月二十一日ヨリ陸奥國弘前市弘前富田町郵便受取所ヲ郵便電信受取所トス其ノ名稱、電報ニ關スル通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一名稱 弘前富田町郵便電信受取所

一電報ニ關スル通信取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前九時ヨリ午後八時マテ
十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前九時ヨリ午後七時マテ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

但シ著信電報ハ其ノ受取所ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外之ヲ取扱ハス

○逓信省告示第五百三十六號

本月二十一日ヨリ安藝國廣島市廣島京橋郵便受取所ヲ同國同市猿猴橋町ニ移轉シ廣島猿猴橋郵便受取所ト改稱ス

明治三十四年十二月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五百三十七號

左ニ掲クル立標及浮標ハ來明治三十五年三月三十一日マテニ左記ノ通り漸次其著色及目標ヲ變更スヘシ

明治三十四年十二月十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十四年十二月 告示 逓信省第五百三十五號 第五百三十六號 第五百三十七號

立標ノ部

通 位 區
 角石立標 尾張國師崎水道日間賀島ノ西方
 長太夫挂燈立標 布刈國戶細島ノ北方
 金伏挂燈立標 下之關海峽航路ノ東方
 鳴國挂燈立標 下之關海峽航路ノ北方
 粗挂燈立標 下之關海峽航路ノ北方
 大文字岩挂燈立標 豐前國藍ノ島ノ北方
 伏標立標 肥前國平戸島南端ヨリ南東方
 平崗立標 長崎港口伊王島燈臺ノ東方

浮標ノ部

通 位 區
 川崎浮標 東京灣羽根田洲ノ南端
 神奈川浮標 横濱港内ノ北方神奈川砲臺沖ノ洲ノ南端
 本山浮標 長門國ノ極南端ヨリ南方ニ極互ヌル洲ノ南端
 中ノ洲東浮標 下之關海峽ノ東ニ方ル中ノ洲ノ東端
 中ノ洲西浮標 下之關海峽ノ東ニ方ル中ノ洲ノ西端
 飛ヶ洲浮標 下之關海峽ノ東ニ方ル飛ヶ洲ノ北端
 門司北東浮標 下之關海峽門司洲ノ北東端
 門司南西浮標 下之關海峽門司洲ノ南西端
 西泊浮標 長崎港内西泊入口暗礁ノ南端

○遞信省告示第五百二十八號
 來明治三十五年一月一日ヨリ肥前國長崎市長崎電信取扱所ニ於ケル著信電報ハ其鐵道停車場ヲ肩
 書シタルモノ及留置ト爲スモノ外之ヲ取扱ハス
 明治三十四年十二月二十日
 遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百二十九號

清國牛莊及營口ニ宛ル電報ハ旅順ヨリ郵便ヲ以テ送達スヘキモノヲ除クノ外暗號ヲ以テ書載スル
 ヲ得サル旨大北電信會社ヨリ通報アリタリ
 明治三十四年十二月二十三日
 遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百四十號

帆船若吉丸外五十艘ヘ左ノ通信號符字ヲ附シ帆船喜鶴丸信號符字ヲ訂正ス
 明治三十四年十二月二十三日
 遞信大臣子爵芳川顯正

信號符字	番 號	種類	船 名	船 種	所 有 者 氏 名
J L K B	四七五〇	帆	日向丸	日輪	神月辰藏
J H T B	五四五四	帆	若言丸	手筑	真園伊之吉
J H T C	五四五五	帆	三角丸	三肥	高田鏡丸
J H T D	五四五六	帆	大福丸	江筑	河野宇佐太郎
J H T F	五四五七	帆	順風丸	三筑	中野九三郎
J H T G	五四五八	帆	勢榮丸	口鹿	三原陸太
J L H V	六〇三三	帆	萬榮丸	高日	日高萬太郎
J P G N	六一一三	帆	一貫丸	眞相	御守吉次郎
J M G W	六八六七	帆	朝日丸	蒲周	橋井保治
J M H B	六八六九	帆	佳福丸	日輪	角田安右衛門

明治三十四年十二月 告示 遞信省告示第五百二十九號 第五百四十號

J P S R	J P S Q	J P G R	J P G Q	J P G M	J L V D	J C D N	J C D M	J C D L	J F W S	J M F W	J P C S	J P C R	J P C Q	J P C N	J P O M	J P C L	J P O K
八二〇四	八二〇三	八〇九二	八〇九一	八〇八八	八〇二〇	七九八四	七九八二	七九八〇	七八二二	七六八七	七五九六	七五九五	七五九四	七五九三	七五九二	七五九一	七五九〇
帆	帆	汽	汽	帆	汽	帆	帆	帆	汽	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆
延子丸	福壽丸	日ノ出丸	藤島丸	濱吉丸	第三大丸	第四島丸	昌榮丸	福徳丸	第四洞海丸	住榮丸	第貳拾壹號	第貳拾貳號	第貳拾參號	第貳拾肆號	第參拾五號	第參拾七號	第貳拾九號
三備	佐安	横濱	横濱	横濱	新潟	島志	長紀	綿紀	長崎	下土	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京
庄後村	江藤村	濱市	濱市	濱市	新潟市	島志町	長紀町	綿紀村	長崎市	下土村	佐田村	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市
田川松太郎	藤本淺吉	内務省	内務省	鳴島茂吉	新潟船務株式會社	島羽工合會社	田中常藏	橋向虎次郎	若松港務株式會社	清水駒吉	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社

J P C H	J P C G	J P C F	J N T R	J N T Q	J N T P	J N T M	J N T L	J N T K	J N T H	J N T G	J N T F	J N T D	J N T C	J N T B	J M W N	J M W P	J M H C
七五八九	七五八八	七五八七	七五八六	七五八五	七五八四	七五八三	七五八二	七五八一	七五八〇	七五七九	七五七八	七五七七	七五七六	七五七四	七二七四	七一八五	六八七〇
帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	汽	帆	帆	帆	帆	帆
第拾九號	第拾八號	第拾六號	第拾貳號	第拾壹號	第拾九號	第拾七號	第拾四號	第參號	第貳號	第壹號	伊豫丸	第四十三號	つ	住吉丸	備合丸	順榮丸	
東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	東京市	常尾町	常尾町	油尾村
日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	日本郵船株式會社	北海道炭礦鐵道株式會社	日本郵船株式會社	杉江嘉左衛門	間瀬與三郎	西本甚兵衛

訂正	信號符字	番 號	種 類	船 名	名
J P S T	八二〇五	帆	寶	丸	安崎中野村
J D B N	八三五二	汽	大	丸	中村五太郎
J D B P	八三五四	帆	寶	丸	中西德太郎
J D B Q	八三五五	汽	船	丸	大阪合同紡績株式會社
J D B R	八三五六	汽	第拾壹永田丸	丸	永田三十郎

○遞信省告示第五百四十一號

本月二十六日ヨリ大隅國大島郡早町郵便局ヲ三等郵便電信局トシ早町郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月二十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報ノ取扱ニ關スル制限
一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第五百四十二號

本月二十六日ヨリ米澤鐵道停車場ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス其ノ取扱所ノ名稱、位置、通信取扱時間及電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月二十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

一名稱、位置
名稱 米澤鐵道取扱所

位置 務前國米澤市米澤鐵道停車場

一通信取扱時間 午前七時ヨリ午後七時マデ

一電報ノ取扱ニ關スル制限

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ其鐵道停車場ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外之ヲ取扱ハス

○遞信省告示第五百四十三號

明治三十三年四月遞信省告示第六十三號第一項中「絶影島」ノ下ニ「俗稱牧ノ割註ヲ挿入ス

明治三十四年十二月二十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百四十四號

本日ヨリ大和國宇陀郡内牧村大字内牧ニ郵便受取所ヲ設置シ内牧郵便受取所ト稱ス但郵便貯金事務ヲモ取扱フ

明治三十四年十二月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百四十五號

本月二十六日ヨリ常陸國筑波郡北條郵便局ヲ三等郵便電信局トシ北條郵便電信局ト改稱ス其ノ電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ如シ

明治三十四年十二月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報ノ取扱ニ關スル制限
一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○遞信省告示第五百四十六號

來明治三十五年一月一日ヨリ土佐國安藝郡甲浦郵便局ヲ三等郵便電信局トシ甲浦郵便電信局ト改稱ス

明治三十四年十二月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百四十七號

明治二十年六月遞信省告示第百六十七號海外電報料金表第三表北亞米利加地方ノ部中左ノ通改正ス

明治三十四年十二月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

合衆國ノ項中「アラスカ」ヲ左ノ通改正ス

アラスカ (Alaska)

イーグルシティ (Eagle City)

グレンジャー (Glacier)

ショップ (Shops)

スカングウェイ (Skangway)

サマミット (Summit)

四六〇〇

五六〇〇

加奈太ノ項中「ブリチッシュコロムビヤ」及「西北テリトリイ」ヲ左ノ通改正ス

ブリチッシュコロムビヤ (British Columbia)

アトラン (Atlin)

フラスーラー (Fraser Lake)

ハザルトン (Hazelton)

ポートシンプソン (Port Simpson)

スキーナキャニオン (Skena Canyon)

テレグラフクリーク (Telegraph Creek)

ベネット (Benett)

フラスター (Fraser)

ログキャビン (Log Cabin)

ホワイトパス (White Pass)

并發各局

四六〇〇

四六〇〇

北西テリトリイ (North-West Territories)

ビッグサーモン (Big Salmon)

キャリブクロッシング (Cariboo Crossing)

ダウソンシティ (Dawson City)

ファイブフィンガーズ (Five Fingers)

フォートクダシュ (Fort Cudahy)

フォートセルカーク (Fort Selkirk)

フォーティマイル (Forty Mile)

フートプリンクム (Footprint)

ラウアーラバラー (Lower Labarge)

ノーザンインターナショナルバウンダリー (Northern International Boundary)

オギルヴィー (Ogilvie)

セルウィン (Selwyn)

ステewartリバー (Stewart River)

タギッシュ (Tagish)

ホワイトホース (White Horse)

其他各局

四六〇〇

四六〇〇

○遞信省告示第五百四十八號

明治三十年七月遞信省告示第百九十九號萬國電信條約附屬細目規則中各國適宜ニ規定スルヲ得ル事項ニ關スル外國電信主管局ノ決定中歐洲内外兩方法ニ關スル件第四至急私報ノ部該電報ヲ取扱フ電信主管局ハ左ノ如シノ項中「那威」ノ次ニ「新加列士尼亞」蒙的「尼古羅」ヲ「攝見比亞」ノ次ニ「暹羅」ヲ「瑞典」ノ次ニ「多斯馬尼亞」ヲ「南濠斯太刺利」ノ次ニ「西濠斯太刺利」ヲ追加シ「同部中英領印度」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

明治三十四年十二月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

新南威爾斯ハ至急私報ヲ取扱ハス

○遞信省告示第五百四十九號

明治三十三年三月三十一日 遞信省告示第百二十一號中「千八百九十九年出版 Bedford ne nells mining and general telegraphic Code」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス
遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十四年十二月二十五日

Unicod.

○遞信省告示第五百五十號

明治三十五年一月一日ヨリ 攝津國川邊郡尼ヶ崎郵便電信局内ニ電話所ヲ置キ尼ヶ崎電話所ト稱ス
遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十四年十二月二十六日

○遞信省告示第五百五十一號

明治三十三年八月 遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中「攝津國明石郡垂水村ノ内大字鹽屋内」ノ次ニ左ノ通追加ス
遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十四年十二月二十六日

一 攝津國川邊郡尼ヶ崎町、小田村ノ内大字杭瀬村、同上長洲村、同上金樂寺村、同上西長洲村、立花村ノ内大字西難波村、同上東難波村
一 同國武庫郡大庄村ノ内大字道意新村
遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第五百五十二號

明治三十四年八月 遞信省告示第三百二十五號中「コロライン」群島獨逸保護地ニ於ケル郵便爲替取扱郵便局所在地名ニ「ヤン」(Yan)ヲ追加ス
遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十四年十二月二十七日

○臺灣總督府告示第百二十三號(官報十二月七日)

明治三十四年十二月一日ヨリ明治三十三年九月告示第七十三號ヲ廢止ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十四年十一月二十日

〔參照〕

明治三十三年九月二十日 臺灣總督府告示第七十三號ハ府報發行ノ件ナリ

○臺灣總督府告示第百二十四號(官報十二月七日)

汽船高砂第一號へ左ノ信號符字ヲ照附ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十四年十一月二十七日

信號符字	船名	種類	船籍港	主
KBDN	ニニ、23	汽	基隆港	臨時臺灣基隆築港局

○臺灣總督府告示第百二十五號(官報十二月十一日)

明治三十三年四月告示第二十七號但書中「毎年五月一日ヨリ十一月二十日マテ」ヲ削除ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十四年十一月二十八日

〔參照〕

明治三十三年四月二十日 臺灣總督府告示第二十七號ハ安奉鐵道及廢拔ニ假令降場ヲ設ケシ旅客並手荷物ノ取扱開始但安平鐵道ニ於テハ毎年五月一日ヨリ十一月三十日マテ貨物ノ取扱ヲ爲ス件ナリ

○臺灣總督府告示第百二十六號(官報十二月十一日)

澎湖島媽公要港部水雷敷設隊ニ於テ明治三十四年十二月五日ヨリ七日間演習ノ爲媽公港口ニ危險物ヲ沈置スルニ付該期間船舶ノ通航礙泊並漁業ヲ左ノ通禁止ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十四年十一月二十九日

船舶通行及漁業禁止區域

- 一 漁翁島小頭角東端ト左ノ二浮標ヲ連結シタル直線ニテ包圍セル海面
- 一 小頭角東端ノ南五點四分ノ三東六百碼ニ位置セル方旗浮標
- 一 小頭角東端ノ南二點東六百碼ニ位置セル方旗浮標
- 一 四角島南西端ト左ノ二浮標ヲ連結シタル直線ニテ包圍セル海面
- 一 四角島南西端ノ北七點半西六百碼ニ位置セル方旗浮標
- 一 四角島南西端ノ北四點半西六百三十碼ニ位置セル方旗浮標
- 一 小頭角東端及四角島北東端トヲ連結セル直線ヲ中央線トシ之ニ並行セル二百五十碼線内ノ海面

○臺灣總督府告示第二百二十七號(官報十二月十一日)

明治三十一年律令第十九號ニ依リ通用スル一圓銀貨幣及政府ノ種印ヲ施セル一圓銀貨幣ノ價格ヲ
明治三十四年十一月三十日以降一枚ニ付金九十二錢ニ改定ス

明治三十四年十一月二十九日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第二百二十八號(官報十二月十一日)

明治三十四年十二月一日ヨリ左ノ各郵便電信局ニ於テ電信非常通信事務ヲ取扱フ

明治三十四年十二月三日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

臨時郵便電信局

新營庄郵便電信局

新營庄郵便電信局店仔口出張所

嘉義郵便電信局

○臺灣總督府告示第二百二十九號(官報十二月十一日)

明治三十四年十一月二十五日臺北地方法院宜蘭出張所廳舎ヲ宜蘭廳員山堡金六結庄土名五結ニ移
セリ

明治三十四年十二月三日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第三百三十號(官報十二月三十一日)

明治三十一年六月告示第三十五號別冊臺灣發川石山經過海外電報料金表第一表中左ノ通改正ス

明治三十四年十二月七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

大洋洲地方ノ部「呂宋」「セビニ」「ネグロス」「パネー」ノ四項ヲ左ノ通改ム

比律賓群島(The Philippine Islands)

0.7100

其他諸島

1.0100

東方擴張電信會社ノ線路ヲ經過スル英吉利政府ノ電報ニ適用スル川石山以外特別料金大洋洲地方

ノ部「呂宋」ノ項ヲ左ノ通改ム

比律賓群島(The Philippine Islands)

0.6600

0.6600

其他諸島

0.6600

0.7600

東方擴張電信會社ノ線路ヲ經過スル佛蘭西政府ノ電報ニ適用スル川石山以外特別料金大洋洲地方

ノ部「呂宋」ノ項ヲ左ノ通改ム

比律賓群島(The Philippine Islands)

0.6600

其他諸島

0.7600

○臺灣總督府告示第三百三十一號(官報十二月三十一日)

明治三十四年十二月十六日ヨリ臺南廳灣裡鹽水港廳新營庄間鐵道運輸營業ヲ開始ス停車場名及哩

程左ノ通

臺灣總督男爵兒玉源太郎

打	至	拔	林	林	新	營	庄
狗		仔	林	鳳	營	營	庄
			四三〇八	四八〇一			五二〇三六

拔仔林及林鳳營ハ乘降場トス

明治三十四年十二月 告示 臺灣總督府第百三十二號 第百三十三號 第百三十四號
第百三十五號 第百三十六號

一四六四

○臺灣總督府告示第百三十二號(官報十二月二十一日)

臺南廳中洲庄ニ乘降場ヲ設置シ旅客貨物ノ取扱ヲ開始ス哩程左ノ通
臺灣總督男爵兒玉源太郎
明治三十四年十二月十一日

打	白	至	中	洲	庄
		狗			二〇二八號

○臺灣總督府告示第百三十三號(官報明治三十五年一月四日)
明治三十四年十二月二十日限り明治三十二年四月告示第百二十四號中臺北郵便電信局錫口出張所ヲ廢止ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第百三十四號(官報明治三十五年一月四日)

明治三十四年十二月二十一日ヨリ臺北廳大加納堡錫口街ニ郵便受取所ヲ設置シ錫口郵便受取所ト稱シ其ノ事務ヲ取扱ハシム但シ從前臺北郵便電信局錫口出張所ニ於テ取扱タル郵便爲替郵便貯金及郵便取立金未拂金ノ拂渡ヲモ取扱フ
臺灣總督男爵兒玉源太郎
明治三十四年十二月十一日

○臺灣總督府告示第百三十五號(官報明治三十五年一月四日)

明治三十一年十一月告示第百八十四號中ニ内地ヨリ到着スルヲ削リ左ノ但シ書ヲ追加ス
但シ外國ヨリ到着スル郵便葉書ハ此ノ限りニアラス
臺灣總督男爵兒玉源太郎
明治三十四年十二月十一日

臺灣總督府告示第百八十四號(明治三十一年十二月一日官報)
每年一月一日ヨリ十五日マテノ間ニ内地ヨリ到着スル郵便葉書ニ限り到着郵便日附印ヲ押捺セサルコトアルヘシ
臺灣總督府告示第百三十六號(官報明治三十五年一月四日)

臺灣總督府告示第百三十七號(官報明治三十五年一月四日)

臺灣總督府告示第百三十八號(官報明治三十五年一月四日)

臺北廳淡水港北門洲浮標ハ正位置ヨリ南方へ約二湮流轉セリ但シ正位置ニ碇置ノ上ハ更ニ告示ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎
明治三十四年十二月十四日

○臺灣總督府告示第百三十九號(官報明治三十五年一月四日)

明治三十二年告示第百二十一號中左ノ追加ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎
明治三十四年十二月十四日

臺灣總督府告示第百四十號(官報明治三十五年一月四日)

明治三十一年告示第百三十五號別冊臺灣發川石山經過海外電報料金表中左ノ通改正ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎
明治三十四年十二月十八日

第一表 亞非利加地方ノ部中「モムバッサ」ノ項ヲ削除シ「ラムー」「マリンドー」「ウツウ」ノ各項ヲ左ノ通改ム
英領東亞非利加及「モムバッサ」British East Africa and Uganda
モムバッサ(Mombassa) M+K100 三六三〇〇
マラー(Lamu) M+K100 三六三〇〇
マリンディー(Malindi) M+K100 三六三〇〇
ウツウ(Utu) M+K100 三六三〇〇
其ノ他各地

第二表 清國地方ノ部中直隸省ノ下「紫竹林」ノ次ニ「磁州」(Zichow)ヲ河南省ノ下「河南府」ノ前ニ鄭州(Chingehow)ヲ及江西省ノ下「南昌府」ノ次ニ「萬安」(Wanan)ヲ加フ
臺灣總督府告示第百三十九號(官報明治三十五年一月四日)

○臺灣總督府告示第百四十號(官報明治三十五年一月四日)

明治三十二年告示第百七十三號鹽務總館役員中左ノ通改定ス
臺灣總督男爵兒玉源太郎
明治三十四年十二月十九日

臺中鹽務總館 承辦 林堯仁 埔里社鹽務總館 承辦 羅金水

臺灣總督府告示第百三十七號 第百三十八號 第百三十九號
臺灣總督府告示第百三十七號 第百三十八號 第百三十九號
臺灣總督府告示第百三十七號 第百三十八號 第百三十九號

臺灣總督府告示第百三十七號 第百三十八號 第百三十九號
臺灣總督府告示第百三十七號 第百三十八號 第百三十九號
臺灣總督府告示第百三十七號 第百三十八號 第百三十九號

○臺灣總督府告示第四百四十號(官報明治三十五年一月四日)
明治三十三年二月告示第十四號鹽務支館役人中左ノ通改定ス

臺北總館管轄枋橋支館 顏 溱 洵 臺灣總督男爵兒玉源太郎
臺南總館管轄灣裡支館 康 允 中 臺南總館管轄安平支館 倪 木
臺灣總督府告示第四百四十一號(官報明治三十五年一月四日)
臺灣總督府農事試驗場農事講習生規程左ノ通相定ス 李 聰

臺灣總督府告示第四百四十二號(官報明治三十五年一月四日)
臺灣總督府農事試驗場農事講習生規程左ノ通相定ス
明治三十四年十二月二十日 臺灣總督男爵兒玉源太郎

臺灣總督府農事試驗場農事講習生規程

- 第一條 講習生ハ左ノ資格アル者ヨリ募集ス
一 田畑二甲以上ヲ有スル本島人若クハ其ノ子弟ニシテ普通ノ文字ヲ解スル者
- 二 滿十八歳以上ニシテ身體強健農事ノ勞働ニ堪ユル者
- 三 品行方正ナル者
- 四 家事ノ係累ナク一箇年間修業ノ見込アル者
- 第二條 講習生ハ農事ニ關スル簡易ノ學理並技藝ヲ講習スルモノトス
- 第三條 講習生ヲ志願スル者ハ別記書式ニ依リ管轄廳ヲ經由シテ出願スヘシ但シ身元保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ戶主ニ限ル
- 第四條 講習生ハ場内ニ寄宿セシム但シ食料被服文具等ハ一切自辨トス
- 第五條 講習生ハ授業ノ餘暇普通ノ勞役ニ從事セシムルモノトス但シ勞働賃錢ヲ給スルコトアルヘシ
- 第六條 講習生ノ修業期間ハ滿一箇年トス但シ時宜ニ依リ延長スルコトアルヘシ

第七條 修業滿期ニ至リ科程ヲ卒ヘタル者ニハ修業證書ヲ授與ス

- 第八條 左ノ各項ノ一ニ該當スル者ハ退場セシム
一 命令規則ニ悖戻シ屢訓誨スルモ改悛ノ見込ナキ者
- 二 素行修マラサル者
- 三 學藝不充分ニシテ定期修業ノ見込ナキ者
- 四 疾病又ハ創傷ニ因リ勞働ニ堪ユルコト能ハサルニ至リタル者

(別記書式)

農事試驗場農事講習生志願書

私儀農事試驗場農事講習生志願ニ付入場御許可被成下度身元保證人連署此段相願候也
年 月 日

住所(戶主又ハ何某長次男弟) 氏 名 ④
生年月日 ④
住 所
身元保證人 氏 名 ④

臺灣總督府殖產局長宛

○臺灣總督府告示第四百四十二號(官報明治三十五年一月四日)
明治三十五年一月一日ヨリ當分ノ内三等郵便及電信局、一等郵便電信局支局(滬尾、安平、大稻埕三支局ヲ除ク)ハ香港及香港媒介小包郵便物ヲ除クノ外外國小包郵便事務ヲ取扱ハス
郵便又電信局出張所及郵便受取所ハ總テ外國小包郵便事務ヲ取扱ハス
明治三十四年十二月二十日 臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四百四十三號(官報明治三十五年一月十六日)

臺南廳臺南ニ臺灣總督府專賣局臺南出張所ヲ設置シ阿片煙膏ノ保管並藥品試驗ノ事務ヲ取扱ハシ

明治三十四年十二月二十四日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四百四十四號(官報明治三十五年一月十六日)

長野縣巡查退隱料及遺族扶助料年金請求手續左記ノ通告示セシ旨同縣知事ヨリ通知アリ

明治三十四年十二月二十七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

書式(用紙半紙)

巡查(退隱料)(遺族扶助料)(給助)年金請求書

一金何程

但明治何年何月ヨリ何月ニ至ル何箇月分年金何圓ノ額(死亡又ハ權利ノ消滅等ハハ除外ス)右及請求書也

年月日

何府縣何郡市何町村何番地

元長野縣巡查 何

某印

(或ハ)

故(元)長野縣巡查

何某遺孀孤兒又ハ何々

何 某印

(※成年者ナルトキ其後見人ノ署名捺印ヲ要ス)

長野縣知事何某殿

右ハ部内現住ノモノニシテ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第何條第何項第何號ニ該當セサルモノニ相違無之候也

年月日

何市町村長 何

某印

(備考)

巡查看守退隱料及遺族扶助料法中退隱料ニ在テハ第十四條第一項第二號及第三項扶助料ニ在テハ二條第二號第四號第十五條(第十四條第一項)ノ外證明ヲ要セス

年金受給者死亡ノ場合ニ於テハ其死亡年月日ヲ證明スルモノトス其他之レニ準ス

○臺灣總督府告示第四百四十五號(官報明治三十五年一月十六日)

基隆哨船頭郵便受取所ヲ當分ノ内閉鎖ス但シ同所ヘ宛タル郵便爲替郵便貯金及郵便取立金ノ拂渡事務ハ閉鎖中基隆郵便電信局ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十四年十二月二十七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四百四十六號(官報明治三十五年一月十六日)

嘉義廳東石港所在ノ警報信號標紅燈破損ニ付當分夜間信號ノ揭示ヲ停止ス

明治三十四年十二月二十四日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四百四十七號(官報明治三十五年一月十六日)

明治三十四年十月告示第四百四號ヲ以テ揭示ヲ停止セシ阿猴廳東港所在ノ警報信號標ハ明治三十四年十二月二十二日ヨリ從前ノ通揭示セリ

明治三十四年十二月二十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○租税納入證明規程ニ關スル件(廣島稅務管理局)照會 明治三十四年三月十二日

客年三月勅令第百二十七號ヲ以テ會計規則第五十二條中改正相成候ニ就テハ明治三十年六月會計検査院達第一號租稅納入證明規程ニ據ル計算書ニハ調定額ヲ登録セシテ徴收額ヲ登録スヘキ據被存候處同書式ハ改正可相成候ニ候哉調理上都令有之貴見承知致度候間至急何分ノ檢御回報ヲ煩シ度

(會計検査院部長)回答 明治三十四年三月二十五日

追而改正可相成者ニ候へ共調定額收入濟額不納缺損額收入未濟額等ハ登録スヘキ候ニ有之候

○商船學校生徒兵籍編入ノ件(陸軍部附合) 明治三十四年三月十三日
 陸海軍兵籍ニ編入セラレタル學生生徒ハ徵兵令第二十五條但書現役中ノ者ニ包含シ同條ノ届出ヲ爲スニ及ハサル概ト存候而シテ
 商船學校生徒ノ儀ニ付明治二十二年中海軍省軍務局長ヨリ別紙寫ノ通り通牒有之ニ依リ該校生徒モ海軍生徒ニ準シ取扱來候
 處今般第八師團實議ニ對シ本年二月二十七日付送乙第五一四號ヲ以テ貴局庶務課長ヨリ回答ヲ與ヘラレタル旨趣ハ東京商船學校
 ノ本校生徒ハ從前ノ如ク取扱ヒ其分校即チ大阪函館兩分校ニ於ケル生徒ノミ兵籍ニ編入セラレストノ義ニ可有之哉本件ハ徵兵令
 第二十五條ノ届出方ニ關係有之勝疑義ニ涉リ候間何分ノ御回答ヲ得度
 (別紙)

本年一月徵兵令改正相成候處海軍生徒及海軍工夫ハ常備兵籍ニ編入サレタルモノニ有之又東京商船學校函館商船學校生徒ハ卒
 業ノ上ハ海軍預備員ニ充ツヘキ者ニ付海軍生徒ニ準セラレ候條爲御心得此旨及御通牒候也
 (陸軍總務長官回答) 明治三十四年四月五日
 東京商船學校大阪函館兩分校生徒兵籍編入ノ義ニ付御同令ノ趣了承右兩分校ハ明治二十四年初令第四十五號及同年遞信省告示第
 百八十號ニ依リ兵籍ニ編入セラレ、モノニアラサル儀ト御承知有之度

○物品出納計算書證明ニ關スル件(千住製鐵所) 明治三十四年四月八日
 本年四月會計検査院第一號物品出納證明規程付圖ノ計算書式ニ依レハ資本外物品ニ對スル代價ヲ計算書ニ記載スヘキモノ、
 如シ然ルニ三十三年度ニ在リテハ前年度ト等シク代價記入ヲ要セサル積ヲ以テ諸帳簿ノ整理ハ勿論其他計算書ニ至ル迄夫々準備
 簿ノ次第ニテ今般カニ代價ヲ計算書ニ記入スルハ頗ル困難ニ付前年度ト同様員數ノミ記載シ代價ハ省略ノ事ニ致シ度且又三十四
 年度ヨリハ書式ノ通取扱可申ハ勿論ニ候得共計算書ニ資本外物品ニ對スル代價ヲ悉ク記入スルニハ其原帳簿タル資本外物品出納
 簿ニ物品出納毎ニ別紙乙號書式ノ如ク數百ノ物品ニ對シ代價ヲ算出シ傳票ヘモ同時ニ記載セサル可カラサル義ニテ之ヲ從來取扱
 ノ分即別紙甲號書式ニ比スレハ事務取扱上非常ノ手數ヲ要シ候處ニ付可相成ハ三十四年度以降ニ在テモ翌年度へ繰越ノ員數ニ對
 シテハ見積代價ヲ付記シ其他ハ省略候條致度候間特ニ御詳議相成度(別紙略ス)
 (會計検査院部長) 回答 明治三十四年四月十八日
 三十三年度分ニ對シテハ御來意ノ通差支無之三十四年度以降ハ規程ノ通り御證明可相成候下存候

府縣	出生		死亡		合計		出生		死亡		合計		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
北海道	1,200	1,100	1,000	900	2,200	2,000	1,200	1,100	1,000	900	2,200	2,000	1,200	1,100
東北	1,500	1,400	1,300	1,200	2,800	2,600	1,500	1,400	1,300	1,200	2,800	2,600	1,500	1,400
関東	2,000	1,900	1,800	1,700	3,800	3,600	2,000	1,900	1,800	1,700	3,800	3,600	2,000	1,900
中部	1,800	1,700	1,600	1,500	3,400	3,200	1,800	1,700	1,600	1,500	3,400	3,200	1,800	1,700
近畿	2,200	2,100	2,000	1,900	4,200	4,000	2,200	2,100	2,000	1,900	4,200	4,000	2,200	2,100
四国	1,000	900	800	700	1,800	1,600	1,000	900	800	700	1,800	1,600	1,000	900
九州	1,600	1,500	1,400	1,300	3,000	2,800	1,600	1,500	1,400	1,300	3,000	2,800	1,600	1,500
合計	12,000	11,500	11,000	10,500	23,000	22,000	12,000	11,500	11,000	10,500	23,000	22,000	12,000	11,500

○人口動態概表 明治三十四年六月二十八日官報
 明治三十一年一月一内閣訓令第一號乙號人口統計材料統計小票ニ依リ調査セル同三十三年中出生、死産、死亡、婚姻、離婚、棄兒ノ概數
 及同訓令甲號第四號表ニ依リ調査セル同年中ノ就籍除籍、國籍得喪、失踪ノ宣告者タルハ取消ヲ受ケタル者ノ數左ノ如シ但シ出生、死
 産、死亡、婚姻、離婚、棄兒ノ數ハ同三十三年ノ事實ニシテ同年中ニ届出テタルモノ、ミナリ同年中ノ事實ニシテ同三十三年一月以
 後ニ届出テタル分ハ三十三年以後ノ小票ニ依リ更ニ之ヲ追補スヘシ
 出生死産死亡婚姻離婚棄兒

明治三十四年六月 附錄 人口動態概表

Table with 34 columns representing prefectures/cities and 10 rows of population data. Columns include 宮城, 福島, 山形, 秋田, 石川, 富山, 島根, 岡山, 山口, 和歌山, 徳島, 香川, 愛媛, 高知, 福岡, 大分, 佐賀, 熊本, 宮崎, 鹿児島, 沖縄, 北海道. Rows show population figures for each region.

○失踪宣告者ニ對スル兵籍及徵兵事務ノ件(慶手縣)問合 明治三十四年七月五日

民法第三十條ニ依リ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ法律上之ヲ死亡ト看做スヲ以テ陸海軍兵籍ニ在ル者ニシテ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ一般ノ死亡者トシテ凡テ兵籍名簿ヨリ削除セラルヘキハ勿論徵兵適齡以前ヨリ所在不明ノタメ徵兵令第三十條ニ當ル者トシテ年々検査ノ都度報告ノ手續ヲ爲シテ來リタル者モ右失踪宣告後ハ報告ノ手續ヲ爲スニ及ハサル義ト存候得共往々見解ヲ異ニシ取扱上區々ニ涉リ候向モ有之ニ付此際縣廳ヲ一定シ郡村長ニ指示可致積ニ付何分ノ御回答ヲ得度

○收入證明規程ニ關スル件(神奈川縣)照會 明治三十四年五月二十三日

收入證明規程第四條ニヨリ收入計算書ニ添付スヘキ檢定書ノ義ハ主任收入官吏ハ勿論分任收入官吏ノ檢定書ヲモ包含スヘキ様相見候得共主任收入官吏交管等ノ場合ニ於テハ主任收入官吏直接出納シタルモノ、檢定書ニ止マルカ爲メ分任收入官吏檢定書添付ノ途無之且又定時検査ノ際ニ於テモ分任收入官吏檢定書ノ義ハ兼職ニ係ル 歳入歳出外現金出納帳等合算掲記致居候爲メ收入計算書受領額ニ符合致サス旁本條檢定書ノ義ハ主任收入官吏直接取扱ニ係ル檢定書ノミ添付可致積ニ有之候哉差懸リ候義ニ付至急何分ノ御回答相煩度

○道府縣島郡市町村現住人口表中訂正 明治三十四年七月二十日官報

昨三十三年二月一日官報號外(同年本書第二號附錄掲載)内閣統計局ノ調査ニ係ル道府縣島郡市町村現住人口中群馬縣ニ於テ材料調査上ニ誤謬アリシ旨報告ニ依リ左ノ通訂正ス

Table with 2 columns: 群馬縣現住人口(郡別) and 各地方現住人口(町別). Rows list 群馬縣總計, 群馬縣現住人口, and 各地方現住人口(町別) with values like 一四三,三〇〇 and 八二七,七七一.

明治三十四年七月 附錄 陸軍省 會計検査院 道府縣島郡市町村現住人口表中訂正

○逓進看守退隱料一時金扶助料年額計算書ノ件(附録各圖ハ通稱セリ) 明治三十四年八月八日官報
 本月閣令第一號逓進看守退隱料及遺族扶助料取扱規程第十二條ノ退隱料一時金扶助料年額計算書ノ件ニ關シ内閣府局長ヨリ
 關係各廳ヘ左ノ逓進様セリ
 本月閣令第一號逓進看守退隱料及遺族扶助料取扱規程第十二條ニ依リ差出サルヘキ在職年數及退隱料年額一時金若ハ扶助料年
 額計算書ハ明治二十三年七月内閣訓令第八號在官年數及遺給扶助料年額計算書第一書式第二書式及第三書式ヲ準用ノコト
 但右第一第二第三書式中「明治何年何月」給與金何圓何拾何錢(別紙)「トアルヲ」明治何年何月ヨリ起算トスルコト

○租稅外收入徵收規程ノ體裁中提出省略ノ件(東京府)申請 明治三十四年七月二十六日
 租稅外收入徵收規程明規程第四條二項ノ體裁中左記ノ分ニ限リ之ヲ省略致度ニ付承認相成度
 一 地所貸下料ノ一箇年若クハ一回貸下料金五圓未満ノモノ及官舎敷地貸下ニ對シテハ料金額ニ拘ハラス渾テ之ヲ省略スルコト
 但水面使用、地所使用料モ之ニ準ス
 一 官吏遺族扶助法納金或ハ學校職員退隱料及遺族扶助料法納金ニ關スルモノ
 一 諸貸付金中雜種貸金、擔置貸金ニ關スルモノ
 一 左記ノ各目ニ關シテハ每件其金額事由ヲ示セル明細書ヲ以テ代用スルコト
 一 雜收入、雜入、雜收、及返納金、罰金及沒收金、罰金及科料、沒收金、辨償及違約金、辨償金、違約金
 一 物品拂下代、見積價格貳百圓未満ノ拂下ニ關スルモノ
 但森林收入中雜種物拂下代、木竹拂下代モ之ニ準ス
 (會計検査院)指示 明治三十四年八月三日
 特別會計ニ關スルモノ、外別紙甲號ノ事項ニ對シテハ提出方省略承認致候得共乙號ノ事項ニ對シテハ代用種類其他ノ事項ニ對シ
 テハ承認致候規程ノ通提出ヲ要ス
 (別紙)

一 森林收入ノ内	地所貸下料	但シ年額又ハ一回五圓以内年額五箇年以内ノモノ
一 官有物貸下料ノ内	地所水面貸下料	同上
一 罰金及沒收金	地所水面使用料	同上
一 雜收入ノ内返納金		